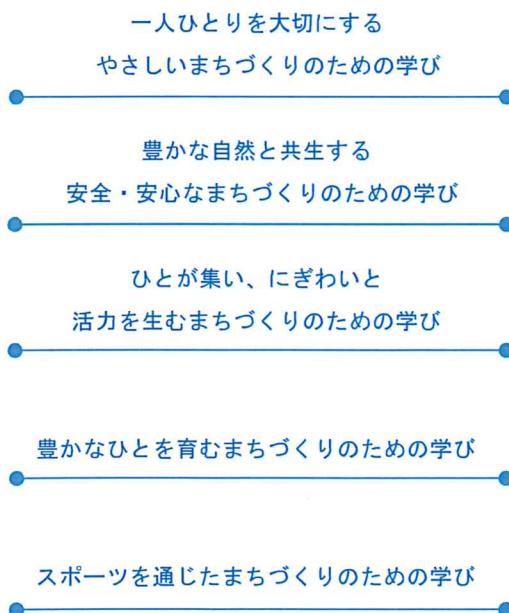


# 網走市社会教育長期計画

2019 - 2028

## 明日を拓く 地域、ひと、学びの循環



網走市教育委員会

## ○ 網走市民憲章 ○ (昭和47年7月17日制定)

わたしたちは、母なるオホーツクの海に抱かれ、湖と森の美しい自然にかこまれた網走の市民です。

わたしたちには、遠いむかしから風雪にたえぬいて、この地を切り拓いてきた、たくましい先人の心がうけつがれています。

わたしたちは、このまちの市民であることに、かぎりない喜びと誇りをもち、のびゆく網走の良い市民となる願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

1. うみやまの深いみどりをいつまでも美しく、心豊かなまちをつくりましょう。
1. うけついだ文化にまなび、世界の人々と手をつなぎ新しいオホーツク文化のまちをつくりましょう。
1. たがいにまごころをもってつきあい、老人を大切にし、子どもの夢をそだてる、しあわせなまちをつくりましょう。
1. 元気で仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。
1. みんなが力をあわせ、人のいのちをだいじにする、明るく住みよいまちをつくりましょう。

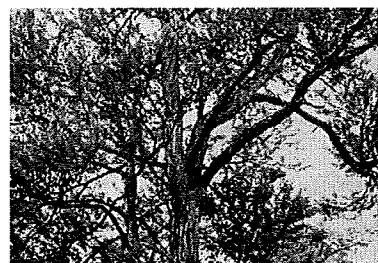
## ○ 網走市の教育目標 ○ (平成20年5月26日制定)

1. あばしりを愛し 自然や文化を大切にする ひと
1. ふれあいを大切にし 互いに助け合う ひと
1. きまりと責任を重んじ 明日に向かって力強く進む ひと
1. 広い視野に立って 主体的に自らを高める ひと
1. 豊かな心をもち 健やかながらだをつくる ひと

### ○網走市の木 かつら

市制施行25周年（開基100年）を記念して、自然環境の保護、育成をはかるため公募をもとに選定。

(昭和47年8月12日制定)



### ○網走市の花 えぞむらさきつつじ

市制施行30周年を記念して、心豊かなまちをつくるため、公募をもとに選定。(昭和52年10月2日制定)

# はじめに

網走市教育委員会  
教育長 三島正昭

網走市の社会教育は、国における教育基本法の改正や社会教育法の一部改正など、教育改革が急速、かつ総合的に進められる中、平成21年3月に「学びで拓く。くらし、地域、みんなの未来。」を将来像とする「第3次網走市社会教育長期計画2009-2018」を策定し、3ヶ年毎の重点目標を掲げ、評価と見直しを行いながら、市民の主体的な学習活動のための環境整備と学習機会の提供に取り組んでまいりました。

今日、我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎える、社会経済情勢もめまぐるしく変化しており、住民のライフスタイルも多様化・個性化・高度化しています。そうした中、多様な学習活動が地域の自立に向けた意識の向上と協働による地域づくりへと結び付いていくことが、誰もが安心して暮らせるまちづくりのために、ますます重要となってまいります。

このことから、網走市の教育目標並びに網走市総合計画の趣旨に基づき、「まちづくりのための学び」を軸とする長期的展望に立った第4次社会教育長期計画を策定いたしました。

この計画では、「明日を拓く 地域、ひと、学びの循環」を将来像とし、学びを通じて市民の「幸せに暮らしたい、安心して暮らしたい」という気持ちに応えることを基本理念に掲げ、この基本理念のもと、市民一人ひとりのさまざまな課題解決、自己実現のための生涯学習の推進と、豊かな心と創造性をもった市民自らによる郷土づくりのための学習機会の提供、学習環境の整備について地域の方々と手を携えながら取り組んでいくこととしており、市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただきました網走市第4次社会教育長期計画策定委員の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆さんに心からお礼を申し上げます。

## 目次 Contents

### 第1部 基本構想

#### 第1章 社会教育計画の概要

1 計画策定の趣旨	1
2 計画の構成と期間	1
3 計画の位置付け	2
4 生涯学習と社会教育	3

#### 第2章 社会教育を取り巻く時代の潮流

1 人口減少・少子高齢化社会の急速な進行	4
2 環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化	5
3 安全・安心に対する意識の高まり	5
4 グローバル化と高度情報化のさらなる進展	6
5 協働による持続的なまちづくりの重要性	6

#### 第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念	7
2 将来像	8

#### 第4章 「将来像」を実現する5つの基本目標

1 基本目標の設定	9
2 基本目標の内容	9

#### 第5章 計画を推進するために

1 社会教育長期計画推進体制の充実	11
2 社会教育推進計画の策定	11
3 社会教育長期計画の評価	11

## 第2部 基本計画

網走市社会教育長期計画の体系図	12
目標1 一人ひとりを大切にするやさしいまちづくりのための学び	13
1 誰もが健康で安心に暮らすために	
2 地域で見守る子育て	
3 誰もが活躍できるまち	
目標2 豊かな自然と共生する安全・安心なまちづくりのための学び	15
1 安全・安心な暮らし	
2 ともに歩み行動する	
3 個性と能力を発揮できるまち	
目標3 ひとが集い、にぎわいと活力を生むまちづくりのための学び	17
1 成熟期のまちづくり「学びの循環」	
2 楽しく学べる笑顔のまち	
3 わがまちの魅力に気づく	
目標4 豊かなひとを育むまちづくりのための学び	19
1 生涯にわたり学ぶ	
2 ひとを豊かにする学び	
3 学びの環境づくり	
目標5 スポーツを通じたまちづくりのための学び	21
1 生涯スポーツの推進	
2 スポーツ活動の推進	

## 目次 Contents

### 資料編

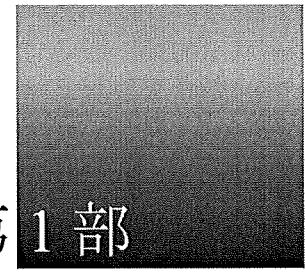
#### ○社会教育長期計画策定委員会について

- ・第4次網走市社会教育長期計画の策定について（諮問・答申） ..... 23
- ・第4次網走市社会教育長期計画策定委員会名簿 ..... 25
- ・網走市社会教育長期計画策定委員会設置要綱 ..... 26
- ・第4次網走市社会教育長期計画策定経過 ..... 27

#### ○高校生ワークショップ

- あばしりの「これから」を高校生が「考える」報告書 ..... 28

#### ○あばしり市民の活動・学習に関する調査結果（調査概要） ..... 32



# 第1部

## 基本構想

## 第1章 社会教育計画の概要

### 1 計画策定の趣旨

平成5年に策定された社会教育中期計画では、急激な社会構造の変化の中で、住民一人ひとりが個性豊かで、創造的な生活を送るために、個人や地域が抱える課題解決のための学習や活動の支援をしてきました。平成11年には、第4期網走市総合計画に基づき、「健康で思いやりのある地域社会づくり」や、「豊かな心と創造性を育む人づくり」をめざし、生涯学習の観点に立った学習機会の提供、学習基盤の整備を中心とする第2次社会教育長期計画を策定しました。平成21年に策定した、第3次社会教育長期計画では、平成20年5月に策定され本市教育のめざすべき姿となる「網走市の教育目標」並びに、第5期網走市総合計画の趣旨に基づき、「学びで拓く。くらし、地域、みんなの未来。」をめざして取り組んできました。

本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、社会経済情勢もめまぐるしく変化し、住民のライフスタイルも一層多様化・個性化・高度化しています。生涯にわたる学びの意欲の高まりとともに、学びの成果が個々の満足感と充実感となり、幸せな社会生活を送ることはもちろん、多様な学習活動を通じて地域の自立に向けた意識向上と協働による地域づくりへと結び付けていくことが重要となってきています。

このことから、網走市の教育目標並びに、網走市総合計画の趣旨に基づき、「明日を拓く 地域、ひと、学びの循環」をめざして、長期的展望に立った第4次社会教育長期計画を策定します。

### 2 計画の構成と期間

この計画は、「基本構想」と「基本計画」で構成し、計画の期間は、2019年度（平成31年度）から2028年度までの10ヶ年とします。

「基本構想」は、将来を展望して、網走市の社会教育がめざすまちの姿と、それを実現するための目標を示しました。

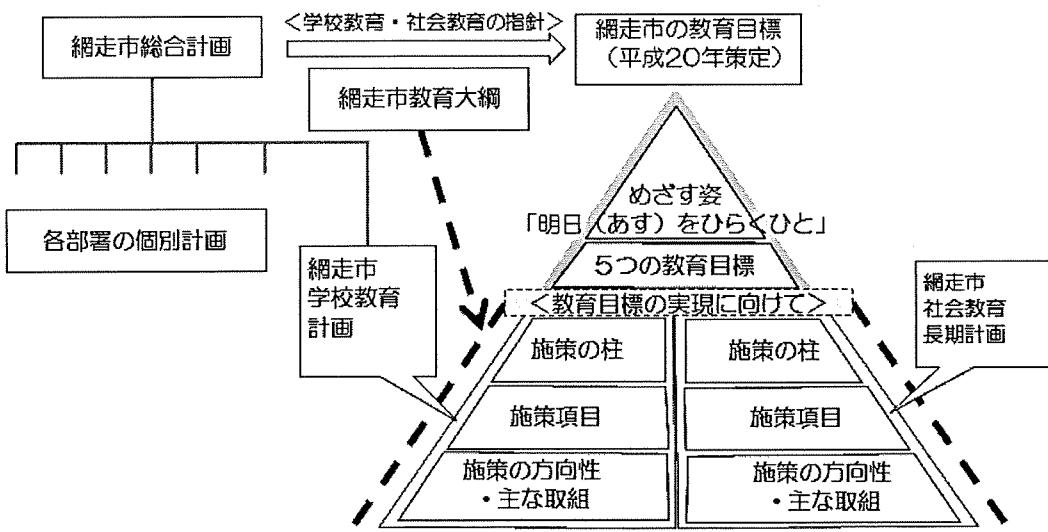
「基本計画」は、基本構想で示した目標を達成するため、各分野における施策の方針性や視点を体系的に示しました。

基本計画の実現のために、既存事業の改善や新規事業の開発を行い、事務事業の実施後には、それを評価して再事業化するなど、一連の推進管理体制を確立します。

このために、基本計画に基づいて、3ヶ年ごとに重点目標を定め、具体的な事務事業で構成される社会教育推進計画を毎年策定します。

### 3 計画の位置付け

- (1) 本計画は、教育目標を実現するために、社会教育のめざすべき全体像を体系的に示す計画として位置付けます。
- (2) 本計画は、教育基本法第17条第2項に規定される地方公共団体が策定する教育振興のための施策に関する基本的な計画として位置付けます。
- (3) 本計画は、第6期網走市総合計画の社会教育に関する個別計画として位置付けます。
- (4) 本計画の範囲は、学校管理下に行われる教育を除く、住民の学習活動全般を対象とします。なお、学校教育との継続性・関連性のある教育の内容については、それを対象とします。



#### ◆教育基本法第17条第2項

地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

### 4 生涯学習と社会教育

#### (1) 生涯学習

生涯学習とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち学校教育・家庭教育・社会教育・企業内教育・文化活動・スポーツ活動・レクリエーション活動・ボランティア活動・趣味など、さまざまな場や機会において行う学習活動を言います。そこでは、自らの興味・関心に応じた内容について、自分に適した方法・手段で生涯を通じて学びます。

教育基本法（第3条）では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされています。

人は生まれたときから、様々な学習活動を行っています。生まれてすぐに周囲の人とのふれあいを通じて人間的な信頼関係や基本的な生活習慣、善惡の判断などを学びます。やがて学校に入学し、教師の指導のもと、学ぶ方法や基礎的な知識を学ぶとともに、地域や友人関係の中から自主性・主体性を培うなど、社会人となるための基礎的な資質・能力を高めていきます。

そして、学校教育を終えると、地域社会で生きていくこととなります。そこでは、職業に必要な知識や技術を学んだり、地域社会で生きていくためのさまざまな経験や学びが積み重ねられます。

このように、人がより豊かに幸せに生きていくために、文化・スポーツ活動や社会参加活動を行い、自主的・主体的に学習し続けることが生涯学習といえます。

#### (2) 生涯学習と社会教育

生涯学習は自らの興味・関心の中で、必要に応じた内容を、自分に適した方法・手段によって生涯を通じて学習するものであり、これは社会教育の理念の多くを共有しています。

社会教育法（第2条）では、「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーション活動を含む。）をいう。」と定義されています。生涯学習が学校教育や家庭教育も含めた概念であるのに対して、社会教育はより暮らしや地域に密着した自主的・自発的な学習活動を指しているといえます。

生涯学習推進は、市の行政全体や学校・団体・企業などを通じて取り組まれるべき大きな理念です。

網走市は、「社会教育」を中心とした生涯学習推進の原動力と基礎的領域の形成を図り、生涯学習全体の推進につなげていきます。

社会教育は、地域住民の相互学習と学習の循環を通じて知識・教養の向上、健康の増進を図り、人と人のつながりを創る役割を担います。

## 第2章　社会教育を取り巻く時代の潮流

私たちを取り巻く環境、社会・経済情勢が目まぐるしく変化していく中で、これからの社会教育のあり方を考えるためにには、地域はもちろんのこと、広域的・全国的、さらには国際的な視点から時代の流れがもたらすさまざまな課題を、素早く、的確にとらえ、それらに柔軟に対応することが求められています。

### 1　人口減少・少子高齢化社会の急速な進行

我が国は、本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎えるにあたり、経済成長、産業、社会保障など、さまざまな分野への影響が懸念されます。特に地方では、大都市圏への人口流出に歯止めがかからず、人手不足や地域活力の低下が進行し、保健、医療、福祉、地域交通、コミュニティなどの生活基盤を維持・確保することさえ困難になるなど、深刻な影響が懸念されます。

本市の平成27年度国勢調査人口は、ついに4万人を下回る3万9,077人、高齢化率（65歳以上の人口割合）は26.9%となっており、この傾向はさらに進むことが予想されます。

#### ＜方向性＞

人口減少や人口構成の変化に対応するため、健康寿命の延伸への取り組みや安心して結婚、出産、子育てができるよう、持続可能な地域医療、子育て環境の充実が求められます。

また、高齢者が健康で生きがいを持って暮らし、子どもたちが安全、安心して育つことのできる環境づくりのため、地域全体で子どもたちを見守り、子育てを支援し、そして高齢者が互いに支えあい、地域の中で交流し、活躍することのできる社会を築いていくことが重要な課題となります。

### 2 環境問題の深刻化と資源・エネルギー事情の変化

地球温暖化の進行による生態系への影響、異常気象などは私たちの生命や財産に大きな被害を与えると考えられています。

今後、新興国のエネルギー需要の増大が予測される中、環境に負荷の少ない再生可能エネルギーの普及拡大や省エネルギー対策の重要性が一層高まっています。

#### ＜方向性＞

ごみの減量化やリサイクルなど、身近な環境問題から、限りある資源の有効活用などの取り組みが求められます。

また、豊かな自然を守り共生するため環境に負荷の少ない循環型社会<sup>\*</sup>の形成が求められます。

### 3 安全・安心に対する意識の高まり

近年、東日本大震災や熊本地震など大規模な自然災害が頻発しており、北海道胆振東部地震では北海道全体がいわゆるブラックアウト<sup>\*</sup>に追い込まれ、住民の防災に対する意識は一層高まっています。

また、道路、橋梁、公園、上下水道などのインフラや、庁舎、学校、公営住宅などの公共施設の老朽化が進む中、住民生活の安全を守り、住民サービスを安定的に提供することが重要な課題となっています。

#### ＜方向性＞

大規模災害の教訓により、国、北海道、市など関係機関（公助）による防災対策の推進はもとより、「公助、自助、共助<sup>\*</sup>」が密接に連携することが極めて重要との認識の下、自助、共助の意識の向上と体制の構築が求められています。

また、将来世代に大きな負担を強いることのない、人口減少や人口構造の変化による利用需要を的確に捉えた公共施設等の総合的な企画、管理も必要とされます。

---

#### ◆循環型社会

環境負荷を減らすため、自然界から採取する資源ができるだけ少なくし、有効に使い廃棄物を最小限に抑える社会。  
(全国地球温暖化防止活動推進センター)

#### ◆ブラックアウト

一般的に電波・光学装置が障害・妨害のため使用不能になること。  
2018年9月6日北海道全域で停電

#### ◆公助・自助・共助

- ・公助 公的機関が個人などで解決できない課題に取り組む。
- ・自助 自分のことは自分で守る。
- ・共助 自分たちの地域は地域コミュニティで力を合わせる。

## 4 グローバル化と高度情報化のさらなる進展

世界的な貿易自由化の進展と交通・情報手段の飛躍的な発達・普及により、ひと、もの、資本、情報などの移動が活発化しており、こうした経済のグローバル化の進展に伴い、国際的な市場競争が今後一層激化することが予想されます。

また、近年は、ICT<sup>\*</sup>の進展、ビッグデータ<sup>\*</sup>、AI<sup>\*</sup>、IoT<sup>\*</sup>、ロボットなどの技術革新が急速に進んでいます。

### <方向性>

基幹産業である農業、水産業および観光業の持続的な発展には、競争力を高め、アジア諸国などの経済成長を取り込むことが必要です。

また、人口減少・少子高齢化の進展とともに、労働力不足が懸念される中、新しい技術の組み合わせは、私たちの働き方やさまざまな分野で大きな変化をもたらす可能性を秘めています。

## 5 協働による持続的なまちづくりの重要性

人口減少・少子高齢化、経済のグローバル化、情報化など、私たちを取り巻く社会経済情勢は常に変化・複雑化し、住民のライフスタイルや価値観は変わり、そのニーズは多様化、高度化しています。

一方で、市の財政は依然として厳しい状況にあり、歳出環境では社会保障関係費の増加や公共施設等の老朽化による、維持管理や更新費用の増大が予測されます。

こうした現状では、多様な市民ニーズに対応するために、行政だけで地域課題を乗り越えていくことは、もはや困難な状況になっています。

### <方向性>

市民、団体、企業、行政など多様な担い手が一体となり、それぞれの特性を活かし、連携しながら、さまざまな地域や社会の課題に立ち向かい、まちづくりに取り組むことが必要です。

◆ICT : 【Information and Communication Technology】 情報通信技術

◆ビッグデータ : 【big data】 従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。

◆AI : 【Artificial Intelligence】 人工知能

◆IoT : 【Internet of Things】 モノのインターネット

コンピュータなどのほか、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

## 第3章 計画の基本的な考え方

網走市の最上位計画である第6期網走市総合計画は、将来像である『豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走』を実現するために5つの目標\*を掲げ、まちづくりを進めることとしています。

学習する市民、行動する市民は、網走市の未来を築く大切な資源であり、目標の実現のための大きな力となります。

この計画では、市民一人ひとりの、さまざまな課題解決・自己実現のための生涯学習の推進と豊かな心と創造性をもった市民自身による郷土づくりのための学習機会の提供、そして学習環境の整備について定めます。

### 1 基本理念

社会教育は、学びを通じて市民の「幸せに暮らしたい、安心して暮らしたい」の気持ちに応えます。

社会教育は、網走の歴史・自然・文化などの日常生活の構成要素と切り離して考えることができません。

人々の暮らしは、地域の気候や地形などの自然環境や、歴史、文化、産業などに強く影響されており、社会教育は、そこから発生する暮らしにかかわる困りごとを「生活課題」、多くの人々に共有する地域の困りごとを「地域課題」と捉え、これらを自分自身の問題として考え、解決するための知識や実践力を蓄積していくために重要な役割を果します。

---

#### ◆網走市総合計画「5つの目標」

- 目標 1 一人ひとりを大切にするやさしいまち
- 目標 2 豊かな自然と共生する安心なまち
- 目標 3 ひとが集いにぎわいと活力を生むまち
- 目標 4 豊かなひとを育むまち
- 目標 5 ともに歩み、築く協働のまち

社会教育は、学びを通じて市民の「幸せに暮らしたい」という気持ちに応えます。

人々は「幸せに暮らしたい」という気持ちを実現するために、暮らしや地域の困りごと（生活課題）を解決していかなくてはなりません。講師から話を聴き、仲間との語らいに耳を傾け、時には読書し、音楽や美術作品を鑑賞して学び、運動を通じて健康・体力を養い、自ら解決する糸口を見つけます。一見個人的なものに見える困りごとも仲間との交流の中から、それが地域の人々が共有する困りごと（地域課題）であることに気づくことがあります。

社会教育は、学びを通じて市民の「安心して暮らしたい」という気持ちに応えます。

人々は、家族・親戚・友人・知人・地域など、いろいろなつながりの中で生きています。つながりが強くなると、何度も会い、お互いの無事を確認しあい、声を掛け合う心地よさから安心を感じ、困りごとの解決にも役立ちます。

幸せを求める人々が、専門家から得た知識や仲間から教えられたこと、先輩の経験談と自らの経験の中から、どうしたら地域の困りごとをみんなで解決することができるのかを考え、行動することを住民自治といいます。

社会教育は、講義や講演を聞くだけではなく、グループで話し合ったり討論する学習活動を大切にします。地域のことを一緒に学び、一緒に汗を流す体験から人々のつながりが強いものとなり、自分の地域は自分たちが主役となって、良くしていかなくてはならないことに気付く機会となります。

社会教育の学びは、「今までの自分の地域や暮らし方がこれで良いのか」、「地域のことや自分の暮らしを少しでも良くしていくためにはどうしたら良いか」を考える機会となります。そして、変化していく地域や暮らしに対応するためには、何度も学び、振り返ることが重要となります。

安心して暮らせる、幸せな暮らしの実現を求め続けるため、社会教育は、地域住民と手を携えながら学びの循環を創出していきます。

## 2 将来像

あすひら  
明日を拓く 地域、ひと、学びの循環

## 第4章 「将来像」を実現する5つの基本目標

### 1 基本目標の設定

将来像の「明日を拓く 地域、ひと、学びの循環」を、市民一人ひとりとともに実現していくために、次の5つの基本目標を掲げ、社会教育を推進します。

### 2 基本目標の内容

#### 目標1 一人ひとりを大切にするやさしいまちづくりのための学び

##### 基本方針

###### 1. 誰もが健康で安心に暮らすために

誰もが生涯にわたり、健康で生き生きと暮らせるための学習機会の充実に努めます。

###### 2. 地域で見守る子育て

家庭と地域がともに学び、地域全体で子どもを育てていくための環境づくりを目指します。

###### 3. 誰もが活躍できるまち

高齢者や障がい者、あらゆる世代の交流を通じた学習環境づくりを目指します。

#### 目標2 豊かな自然と共生する安全・安心なまちづくりのための学び

##### 基本方針

###### 1. 安全・安心な暮らし

地域の安全・安心を世代間で学ぶことができる学習環境を整備します。

###### 2. ともに歩み行動する

一人ひとりの主体的な学びが、ともに行動する学びへと進展していく学習環境を整備します。

###### 3. 個性と能力を発揮できるまち

学びを通じて、誰もが個性と能力を発揮できる環境づくりを目指します。

### 目標3 ひとが集い、にぎわいと活力を生むまちづくりのための学び

#### 基本方針

##### 1. 成熟期のまちづくり「学びの循環」

学びの循環のための環境づくり、ひとづくりへの取り組みを進めます。

##### 2. 楽しく学べる笑顔のまち

さまざまな人々が学び、集い、交流する、にぎわいの場づくりを目指します。

##### 3. わがまちの魅力に気づく

まちの魅力を再発見し、伝えるための学びの充実を目指します。

### 目標4 豊かなひとを育むまちづくりのための学び

#### 基本方針

##### 1. 生涯にわたり学ぶ

各世代に対応した学習環境の充実を目指します。

##### 2. ひとを豊かにする学び

こころとからだを豊かにするための学習環境を整備します。

##### 3. 学びの環境づくり

知の拠点としての社会教育施設の充実を目指します。

### 目標5 スポーツを通じたまちづくりのための学び

#### 基本方針

##### 1. 生涯スポーツの推進

それぞれのライフステージや健康状態、目的に応じたスポーツや健康づくりの機会の充実を目指します。

##### 2. スポーツ活動の推進

スポーツ団体・関係機関と連携し、スポーツ活動の底辺拡大、競技力向上を目指します。

## 第5章 計画を推進するために

### 1 社会教育長期計画推進体制の充実

網走市の社会教育のめざす姿として『基本理念』の下に、「まちづくりのための学び」を軸とする、5つの『基本目標』を掲げました。

その基本目標の実現のために、『施策の基本方針』を指標とし、計画期間である10年間を見据え、系統的に継続的な取り組みの具体化を図ります。

この計画は、策定された段階では完成とせず、3年ごとに検証・評価を通じた見直しを積み重ね、最終的には10年後に完結し、それを「第5次社会教育長期計画」へ引き継ぐという考え方に基づいて策定しています。

つまり、計画策定は、今後の10年間も継続されていくことを意味します。まさしく、市民と社会教育行政（職員）との協働の学びの循環の場になると考えています。

### 2 社会教育推進計画の策定

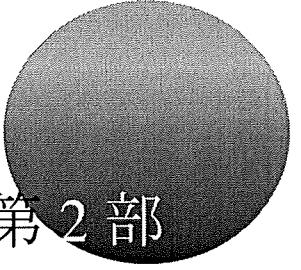
長期計画の進行管理にあたり、基本計画の取り組みを実効性のあるものとするため、単年度計画である『社会教育推進計画』の策定を継続します。

社会教育推進計画は、社会教育委員による検証・評価に基づき、3ヶ年の重点目標を定めます。社会教育施設やスポーツ施設では、各審議会や協議会での審議により、基本目標と3ヶ年の重点目標をふまえた1年間の推進計画を策定します。

各段階での検証・評価は、単に事務事業の量的評価や定性評価だけにとどまらせないために、行政は取り組み内容から判断される背景や状況についても情報提供することが重要です。市民と行政が情報を共有することで、緊張感のある信頼関係を保ちながら、ともに学ぶ姿勢が検証・評価の質を高めます。

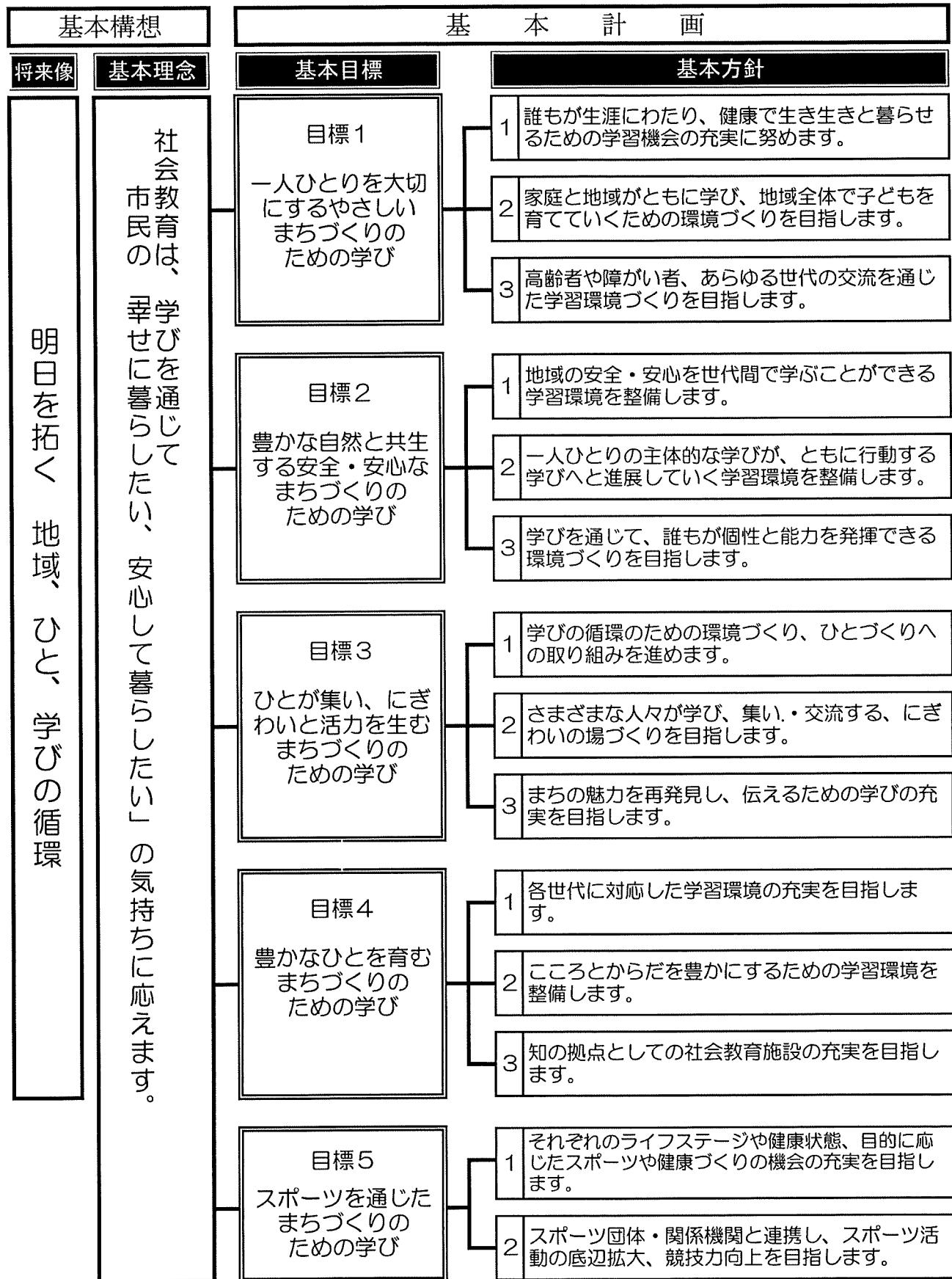
### 3 社会教育長期計画の評価

社会教育活動は、市民の要望に基づいて実施することも大切ですが、なぜ社会教育が取り組むのか、その事務事業を実施することで地域や市民にとって、どのような効果が予測されるのかという視点をもつことが重要です。それと同時に、「地域の課題を社会教育の中でどのように位置付けるか」を、職員側からとらえて整理することに終始するのか、それとも市民との協同作業（学習）の中から見いだすのかを判断することが必要です。そのような視点を整理して、地域課題学習の体系化について、公民館・図書館・博物館・美術館、社会体育施設で各自考え、連携し議論を行います。



第2部  
基本計画

# 網走市社会教育長期計画の体系図



## 目標1 一人ひとりを大切にする やさしいまちづくりのための学び

### 1 誰もが健康で安心に暮らすために

#### 現状と課題

誰もが生涯を通じて、こころもからだも健康で暮らしていくためには、自らの健康に関心を持ち、主体的に継続的な健康づくりへの取り組みが必要です。

また、支援を必要とするひとを社会全体で見守りながら、誰もが安心で心豊かに暮らせるまちづくりが求められています。

#### 基本方針

誰もが生涯にわたり、健康で生き生きと暮らせるための学習機会の充実に努めます。

#### 施策の展開

こころとからだの健康づくりのための学習環境づくり

#### 主な取組

- 寿大学の開設、市民大学の開設支援、あばしり学講座、まなびすと講座、てづくりすと講座、高等教育機関連携講座《社会教育課》

### 2 地域で見守る子育て

#### 現状と課題

子どもたちが生き生きと健やかに成長していくためには、家庭が子どもを教育する力を身につけ、その家庭を地域全体で見守り、支援していく仕組みが必要です。

#### 基本方針

家庭と地域がともに学び、地域全体で子どもを育てていくための環境づくりを目指します。

#### 施策の展開

家庭と地域の教育力向上のための学習環境づくり

#### 主な取組

- 学校支援地域本部事業、コミュニティ・スクールの推進、家庭教育フォーラム、幼児期の子育て講座・講演会、子どもと動物ふれあい事業、子ども会育成活動《社会教育課》
- ブックスタート事業、絵本パック、親子読み聞かせ《図書館》

### 3 誰もが活躍できるまち

#### 現状と課題

住民誰もがお互いの個性を認めあい、交流を通じて思いやりの心を持つことが大切です。

あらゆる世代が学び、地域における社会的役割を認識することのできる学習環境づくりや、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる学習機会の充実が求められます。

#### 基本方針

高齢者や障がい者、あらゆる世代の交流を通じた学習環境づくりを目指します。

#### 施策の展開

高齢者や障がい者、あらゆる世代の交流を通じた生涯学習の環境づくり

#### 主な取組

- 寿大学の開設、暮らしをデザイン講座、まなび塾フェスティバル、文化団体・サークル活動への支援《社会教育課》
- 対面・朗読サービス、録音資料作成《図書館》
- 障がい者スポーツ・高齢者スポーツ振興《スポーツ課》

## 目標2 豊かな自然と共生する 安全・安心なまちづくりのための学び

### 1 安全・安心な暮らし

#### 現状と課題

大規模な自然災害の教訓から、防災対策の推進はもとより、自助（自分のことは自分で守る）、共助（自分たちの地域は自分たちで守る）の意識向上による地域防災力を高めることが求められています。

また、凶悪犯罪や特殊詐欺、交通事故、インターネット環境の普及による新手の犯罪などが発生しており、地域ぐるみの防犯活動推進により地域防犯力を高める取り組みも必要です。

わたしたちの暮らしには、都市基盤施設の老朽化や公共交通機関のあり方、環境問題など、さまざまな生活課題があります。そのような状況の中で、私たちが誇る網走の豊かな自然と共生しながら、安全・安心に暮らしていくために、身近な生活からできることを、ともに学びあえる学習環境の整備に取り組むことが大切です。

#### 基本方針

地域の安全・安心を世代間で学ぶことができる学習環境を整備します。

#### 施策の展開

地域の防災・防犯力を高めるための学習機会の充実と人材育成

#### 主な取組

- 寿大学開設、あばしり学講座、まなびすと講座、てづくりすと講座、  
学校支援地域本部事業《社会教育課》

### 2 ともに歩み行動する

#### 現状と課題

地域でのつながりが希薄化しつつある現状において、個人・団体・企業・行政など多様な担い手がそれぞれの特性を活かしながら連携し、地域課題の解決に取り組むことが必要です。

一人ひとりの主体的な学びが、地域課題解決のため、ともに行動する学びへと進展していくこと、さらに、人と人との絆を強め、活力ある地域コミュニティを作り出すための環境が整備される必要があります。

また、地域と家庭、学校が連携・協働し、次世代を担う子どもたちの安全・安心な暮らしを地域全体で見守り、支えていく仕組みが求められています。

### 基本方針

一人ひとりの主体的な学びが、ともに行動する学びへと進展していく学習環境を整備します。

### 施策の展開

主体的な学びの成果が協働のまちづくりに生かされる環境づくり

### 主な取組

- 生涯学習推進指導員の登録・活用、学校支援地域本部事業、  
あばしり学ファンコース（中学生・高校生・大学生）《社会教育課》

## 3 個性と能力を発揮できるまち

### 現状と課題

性別や年齢に関わらず、誰もが個性と能力を発揮できる豊かなまちの実現が求められています。一人ひとりが自らの生き方を主体的に選択できるよう、個人・団体・企業、それぞれが意識改革を進めながら環境整備に取り組む必要があります。

### 基本方針

学びを通じて、誰もが個性と能力を発揮できる環境づくりを目指します。

### 施策の展開

誰もが個性を発揮できる環境づくりのための学習機会の充実

### 主な取組

- 暮らしをデザイン講座、青年講座、高等教育機関等連携講座、てづくりすと講座、  
あばしり学ファンコース（中学生・高校生・大学生）《社会教育課》

## 目標3 ひとが集い、 にぎわいと活力を生むまちづくりのための学び

### 1 成熟期のまちづくり「学びの循環」

#### 現状と課題

社会構造が変化し、人々の生活様式や価値観の多様化が進む中、本格的な人口減少社会を迎えるまちづくりも成長から成熟への転換が求められています。

学びにより、恵まれた自然環境や産業特性、まちの魅力を再認識し、いかに広く伝えていくかを考え、活動することができるひとづくりが必要です。その上で、「これまで学んできた人」が、学びの成果を「これから学ぶ人」に提供する、「学びの循環」を推進していくことが求められています。

また、多様化する情報伝達方法を効果的に活用し、分かりやすく的確な情報を提供していくことが重要です。

#### 基本方針

学びの循環のための環境づくり、ひとづくりへの取り組みを進めます。

#### 施策の展開

学び合う仕組み・人材育成への取り組み

#### 主な取組

- 生涯学習推進指導員の登録・活用、まなび塾フェスティバル《社会教育課》
- ボランティア育成事業、友の会活動支援《図書館》
- 美術展開催支援、各種実技講座友の会相互協力《美術館》
- 各スポーツ団体との連携・協力、指導体制の充実・支援《スポーツ課》

### 2 楽しく学べる笑顔のまち

#### 現状と課題

子育て世帯が集まることのできる居場所や、ひとりでも気軽に参加できる場など、多様化するライフスタイルにあわせて、気軽に集い、学ぶことのできる場の創出が求められています。

にぎわいあるまちづくりのために、世代や職種を超えてあらゆる人々が活発に交流することも必要です。

### 基本方針

さまざまな人々が学び、集い・交流する、にぎわいの場づくりを目指します。

### 施策の展開

「学ぶ、集う・交流する」にぎわいの場づくり

### 主な取組

- まなび塾フェスティバル、科学フェスティバル、芸術文化合宿の推進、  
芸術・文化鑑賞事業、アトリウムロビーコンサート《社会教育課》
- 図書館まつり《図書館》
- スポーツ合宿の推進《スポーツ課》

## 3 わがまちの魅力に気づく

### 現状と課題

次世代を担う子どもたちが、大人になっても残りたい、住んでいて良かったと思える  
まちの魅力を伝えていくことが求められています。  
そのためには、まちの魅力を再認識する機会となる「地場産業」「地産地消」などの学びを含めたキャリア教育が重要であり、特に少年期の早い段階からの取り組みが必要となっています。

### 基本方針

まちの魅力を再発見し、伝えるための学びの充実を目指します。

### 施策の展開

まちの魅力を再発見し、伝えるための学びの充実

### 主な取組

- あばしり学講座、あばしり学ファンコース、まなびすと講座《社会教育課》
- ふるさと学習支援事業、「あばしりコーナー」設置、高校生企画展《図書館》

## 目標4 豊かなひとを育むまちづくりのための学び

### 1 生涯にわたり学ぶ

#### 現状と課題

ライフスタイルや価値観の変化により、生涯学習に対するニーズも多様化・高度化しています。一人でもグループでも気軽に学べる環境と、多様な学習機会の提供・発表の場を整備していくことが必要です。

また、学習へのきっかけとなる情報提供・相談体制を充実させ、あらゆる世代の生涯にわたる主体的な学習や、自主的な学習活動の成果が社会に還元される環境づくりが求められています。

#### 基本方針

各世代に対応した学習環境の充実を目指します。

#### 施策の展開

各世代の学習ニーズに対応した情報・学習機会の提供

#### 主な取組

- 生涯学習相談、団体グループ活動周知、各期（少年期～高齢期）学習講座、国際理解体験事業、中学生・高校生への自習室開設《社会教育課》
- 教育普及活動《博物館・美術館》
- 資料貸出・利用サービス、地域文庫《図書館》

### 2 ひとを豊かにする学び

#### 現状と課題

ここからだが共に充実することが、豊かなひととまちを育むことにつながります。学びの成果を発表することにより達成感を得ることや、芸術や地域文化などに触れる機会、生涯スポーツへの取り組みなど、ここからだが豊かになるための学びの機会の充実や指導者の育成が重要です。そのために、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・大学など、各教育機関が連携して取り組んでいく必要があります。

#### 基本方針

ここからだを豊かにするための学習環境を整備します。

### 施策の展開

芸術文化・地域文化の鑑賞・学習機会の充実

### 主な取組

- 芸術・文化鑑賞事業、ふるさとアーティストフェスティバル、あばしりファミリー劇場、クラシック音楽鑑賞会、子ども夢育事業《社会教育課》
- 常設展・企画展の充実、資料収集整理《博物館・美術館》
- 文化財保護、モヨロ貝塚保護・活用《博物館》

## 3 学びの環境づくり

### 現状と課題

網走市には、歴史ある市立の図書館・博物館・美術館をはじめ、数多くの誇れる文化施設があります。また、充実したスポーツ施設は国内外から多くのひとに利用されています。

これら多くの社会教育施設が連携し、その特色を最大限生かしながら生涯にわたって学ぶことのできる環境を充実させることが求められます。

また、史跡・文化財の保護や、文化を伝承する人材の育成が重要です。

### 基本方針

知の拠点としての社会教育施設の充実を目指します。

### 施策の展開

施設の計画的な整備、人材育成への取り組みの充実

### 主な取組

- オホーツク・文化交流センターの機能充実
- 図書館の機能充実
- 博物館の機能充実
- 美術館の機能充実
- スポーツ施設の機能充実

## 目標5 スポーツを通じたまちづくりのための学び

### 1 生涯スポーツの推進

#### 現状と課題

スポーツは、青少年の健全育成、健康の維持・増進、コミュニティづくりなどの役割を果すものであることから、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、健康づくりに努めることが大切です。

そのためには、それぞれの体力や年齢・目的に応じた活動機会の提供が求められています。

#### 基本方針

それぞれのライフステージや健康状態、目的に応じたスポーツや健康づくりの機会の充実を目指します。

#### 施策の展開

生涯スポーツを通じた健康づくりやコミュニティづくりのための環境整備や活動機会の提供

#### 主な取組

- 障がい者スポーツ教室、いきいき健康体力づくり教室、各種スポーツ教室の実施、
- こどもスポーツチャレンジ事業、スポーツ推進委員の活動の充実、
- 日本体育大学との連携、スポーツ施設の整備・適正な維持管理
- 《スポーツ課》

### 2 スポーツ活動の推進

#### 現状と課題

人口減少・少子高齢化が進む中、スポーツ団体の会員の減少や高齢化とともに、競技人口の減少もみられます。さらには指導者の不足による競技力の低下が懸念されるスポーツが増えつつあります。そのような状況の中、スポーツ活動の普及、定着と競技力の向上が求められています。

**基本方針**

スポーツ団体・関係機関と連携し、スポーツ活動の底辺拡大、競技力向上を目指します。

**施策の展開**

スポーツの普及、競技力向上のための学習機会の充実と環境整備

**主な取組**

- スポーツ団体の支援、スポーツイベント開催・大会誘致、スポーツ合宿の推進、指導者の支援、少年団・中学・高校との連携・活動支援、日本体育大学との連携  
《スポーツ課》

資料編

## < 資 料 編 >

### ○網走市社会教育長期計画策定委員会について

- ・第4次網走市社会教育長期計画の策定について（諮詢・答申） ..... 23
- ・第4次網走市社会教育長期計画策定委員名簿 ..... 25
- ・網走市社会教育長期計画策定委員会設置要綱 ..... 26
- ・第4次網走市社会教育長期計画策定経過 ..... 27

### ○高校生ワークショップ

- あばしりの「これから」を高校生が「考える」 報告書 ..... 28

### ○あばしり市民の活動・学習に関する調査結果（調査概要） ..... 32

平成30年6月21日

網走市社会教育委員の会議

議長 久田 誠 様

網走市教育委員会

教育長 三島 正昭

#### 第4次網走市社会教育長期計画の策定について（諮問）

網走市では、豊かなオホーツクに活気みなぎるまち網走をめざす第5期網走市総合計画の大要を踏まえ、平成30年を目標年次とする基本構想と基本計画による第3次網走市社会教育長期計画を平成21年3月に策定いたしました。

第3次計画では、「“生きる・働く・学ぶ”の質を高めるために、住民一人ひとりに寄り添い、励ます」こと、「“学びが暮らしを問い、暮らしが学びをまた問い直す”関係をつなぐ」ことを基本理念として、個人や地域が抱える課題解決のため、すべての市民に開かれた学習提供や学習支援に努めてまいりました。

本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎える本市においても平成27年国勢調査人口は4万人を下回る3万9,077人、高齢化率（65歳以上の人口割合）は26.9%となり、この傾向はさらに進むことが予想されます。また、頻発する大規模な自然災害や環境問題の深刻化など私たちの生活を取り巻くさまざまな課題も顕在化しています。

新たな網走市総合計画では、このような中にあっても課題を乗り越え、めざすべき「網走の姿」を今後10年間で実現するための基本的な考え方や取り組みが検討されています。

これら新たな課題解決に向け、教育委員会には長期的な視点により、学習者一人ひとりの多様な個性や特性を尊重しながら市民の生活や文化を高揚させる拠点としての役割や機能をより充実させていくことが求められています。

これらの現状を踏まえていただき、「第4次網走市社会教育長期計画」策定により、平成31年度から平成40年度までの10ヶ年にわたる方針、及び方策について諮問いたします。

平成31年1月25日

網走市教育委員会  
教育長 三島正昭様

網走市社会教育委員の会議  
議長 久田誠

### 第4次網走市社会教育長期計画の策定について（答申）

平成30年6月21日付けで諮問のあった「第4次網走市社会教育長期計画」につきまして、これまで慎重に審議を重ね、意見を取りまとめましたので、別冊のとおり答申いたします。

本答申は、網走市民憲章（昭和47年7月17日制定）や網走市総合計画（平成30年6月策定）の趣旨をふまえ、網走市の教育目標（平成20年5月26日制定）を実現するために、社会教育がめざすべき全体像を体系的に示すものです。

計画立案に際しては、社会教育委員を中心として、スポーツ推進審議会、社会教育施設審議会、図書館協議会、博物館協議会、美術館協議会の各委員から構成した網走市社会教育長期計画策定委員会により、今後10年間の社会教育推進の方向性・視点を市民と共有し、誰もが理解しやすい計画となるよう審議を重ねてまいりました。

この計画は、市民一人ひとりの、さまざまな課題解決、自己実現のための生涯学習を奨励する性格をもつとともに、豊かな心と創造性をもった市民自身による郷土づくりのための学習機会の充実のため、網走市教育委員会が所管する分野について取り組まれる事務事業の基本となるものであり、計画推進のためには、事業の実施効果や優先順位を確認しながら取り組んでいくことが重要となります。

つきましては、趣旨を十分にご理解いただき、市民と職員の協働による事業のさらなる推進をご期待申し上げ、答申といたします。

網走市第4次社会教育長期計画策定委員会 委員名簿

No.	担当部会	委員名	所 属
1	第1部会 保健医療・福祉分野	松井 弘	社会教育委員の会議
2		奥谷 雍子	
3		高久智鶴	
4		平田 和史	社会教育施設審議会
5		鴻巣 直樹	
6		金子 美智子	美術館協議会
7	第2部会 生活安全・都市・環境・ 地域協働分野	黒田 幸市	社会教育委員の会議
8		片桐 聰	
9		岡山 一枝	
10		古川 元信	博物館協議会
11		河田 卓	美術館協議会
12		多田 吾郎	スポーツ推進審議会
13	第3部会 農林水産業・観光・商工業・ 産業振興分野	久田 誠	社会教育委員の会議
14		田中 浩樹	
15		白濱 敏	
16		大谷 義則	社会教育施設審議会
17		田中 雄一	
18		木村 静子	図書館協議会
19	第4部会 教育・文化・スポーツ・ 交流分野	成瀬 三津子	社会教育委員の会議
20		伊藤 英雄	
21		平野 真奈美	
22		森本 久美子	社会教育施設審議会
23		元角 文雄	
24		内藤 憲一	
25		長澤 知博	スポーツ推進審議会

## 網走市社会教育長期計画策定委員会設置要綱

### (目的)

第1条 社会の変化に対応し、生涯学習の観点に立った社会教育長期計画を策定するため、網走市社会教育長期計画策定委員会（以下「策定委員会」という）を設置する。

### (任務)

第2条 策定委員会は、網走市社会教育長期計画に関して調査研究し、社会教育委員の会議に具申する。

### (構成)

第3条 策定委員会は、次の各号に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する委員により構成する。

- (1) 社会教育委員 (2) スポーツ推進審議会委員 (3) 社会教育施設審議会委員
- (4) 図書館協議会委員 (5) 博物館協議会委員 (6) 美術館協議会委員
- (7) その他教育委員会で認める者

### (任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から社会教育委員の会議に具申する日までの期間とする。

### (委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長は、策定委員会の議長を務め、会務を総括する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長事故ある時はその職務を代理する。

### (会議)

第6条 策定委員会は、委員長が招集する。

- 2 策定委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

### (部会)

第7条 委員会に次の部会を置く。

- (1) 第1部会（保健医療・福祉）(2) 第2部会（生活安全・都市・環境・地域協働）(3) 第3部会（農林水産業・観光・商工業・産業振興）(4) 第4部会（教育・文化・スポーツ・交流）

- 2 部会に部会長を置く。
- 3 部会長は、部会委員の互選により選出する。
- 4 部会長は、部会の議長を務め、部会を総括する。

### (事務局)

第8条 策定委員会の事務局は、教育委員会内に置くものとする。

- 2 事務局員は、社会教育部職員をもってこれに充てる。

### (委任)

第9条 この要綱に定めるものの他、策定委員会の運営について必要な事項は、委員長が策定委員会に諮って定める。

### 附 則

1. この要綱は、平成30年7月17日から施行する。
2. 最初に招集される策定委員会は、第6条第1項の規定に関わらず、教育長が招集する。

## 網走市社会教育長期計画策定経過

平成 30 年 3月	○あばしり市民の活動・学習に関する調査 ・市民の学習・活動の現状と今後の学習活動に対する意向を調査 ・対象者数：2,000 人（18 歳以上の市民） ・回収数（率）：716 人（35.8%）
平成 30 年 3月 19 日	○社会教育委員の会議 ・長期計画策定に係る研修
平成 30 年 6月 21 日	○社会教育委員の会議 ・網走市教育委員会から網走市社会教育委員の会議へ策定に係る諮問
平成 30 年 7月 17 日	○網走市社会教育長期計画策定委員会（第1回全体会議） ・各部会設置（4部会）
平成 30 年 8~11 月	○網走市社会教育長期計画策定員会 各部会 【第1部会（保健医療・福祉分野）】 ① 8月2日 ② 8月7日 ③ 11月9日 【第2部会（生活安全・都市・環境・地域協働分野）】 ① 8月1日 ② 8月7日 ③ 11月6日 【第3部会（農林水産業・観光・商工業・産業振興分野）】 ① 8月2日 ② 8月20日 ③ 9月10日 ④ 9月25日 ⑤ 10月22日 【第4部会（教育・文化・スポーツ・交流分野）】 ① 8月1日 ② 8月7日 ③ 8月16日 ④ 11月5日 【部会長会議】 ① 8月7日 ② 11月16日
平成 30 年 11月 4 日	○高校生ワークショップ『あばしりの「これから」を高校生が「考える』
平成 31 年 1月 22 日	○網走市社会教育長期計画策定委員会（第2回全体会議） ○網走市社会教育委員の会議
平成 31 年 1月 24 日	○網走市社会教育委員の会議から網走市教育委員会へ答申
平成 31 年 1月 29 日	○網走市教育委員会
平成 31 年 2月 1 日	○パブリックコメント実施 ・募集期間：2/1~2/22
平成 31 年 2月 26 日	○網走市教育委員会 ・「網走市社会教育長期計画」決定

## 【資料】 高校生ワークショップ あばしりの「これから」を高校生が「考える」 報告書

### 1. 開催目的

高校生が地域の課題に気づき、それを解決するためにはどんな学習をしておかなければならぬのかを具体的に提案してもらい、社会教育長期計画立案の一助とするとともに、高校生がまちづくりに参画するきっかけ作りの場となることを目的とし、開催しました。

### 2. 開催内容

- (1) 日 時 平成 30 年 11 月 4 日 (土) 10 時 00 分～13 時 00 分  
(2) 場 所 エコーセンター 2 階 大会議室  
(3) 参加者 高校生 19 名 (網走南ヶ丘高等学校 6 名 網走桂陽高等学校 13 名)  
社会教育長期計画策定委員 6 名  
(4) テーマ 『あばしりのこれからを高校生が考える。  
社会教育・生涯学習から網走のまちづくりを考えてみよう』  
(5) 講 師 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏  
(6) 進 行

#### 【レクチャータイム】

最初に、「社会教育ってなんのこと～高校生のための社会教育入門～」と題して、日常の部活動やボランティア活動、事業などへの参加が社会教育につながるものであることを分かりやすく説明してもらいました。

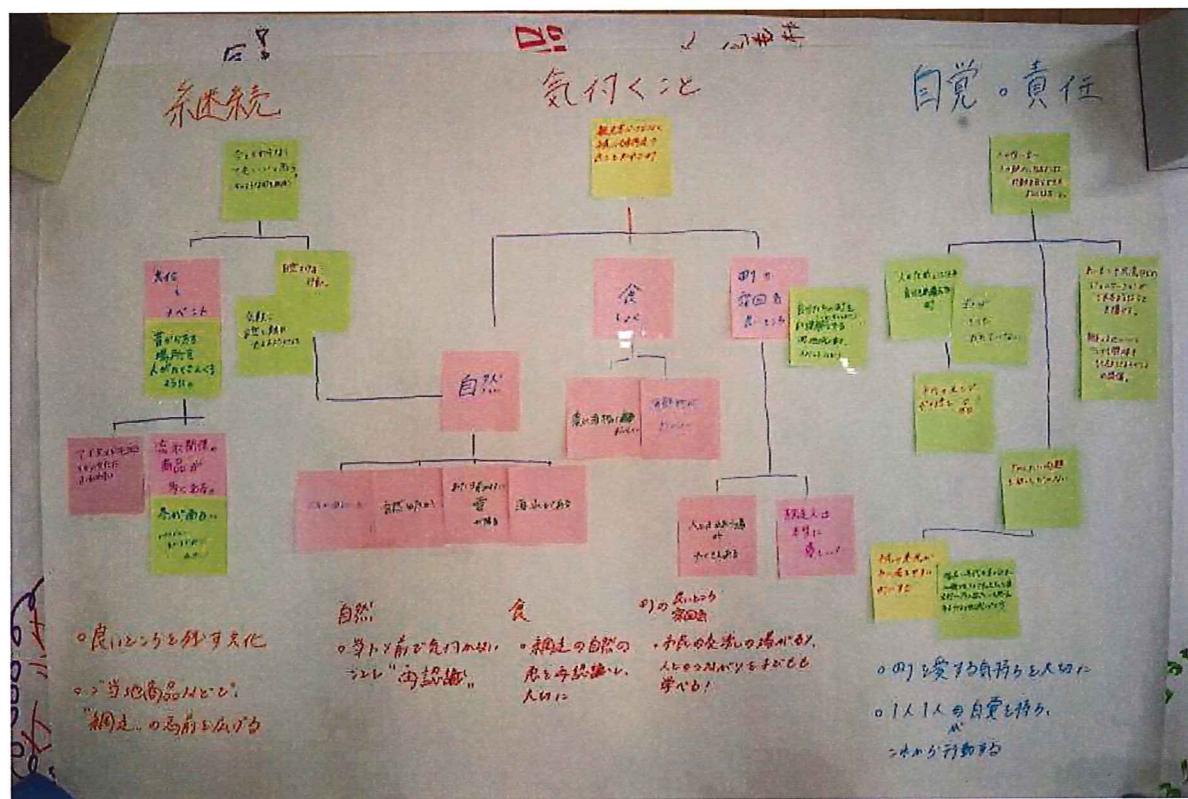
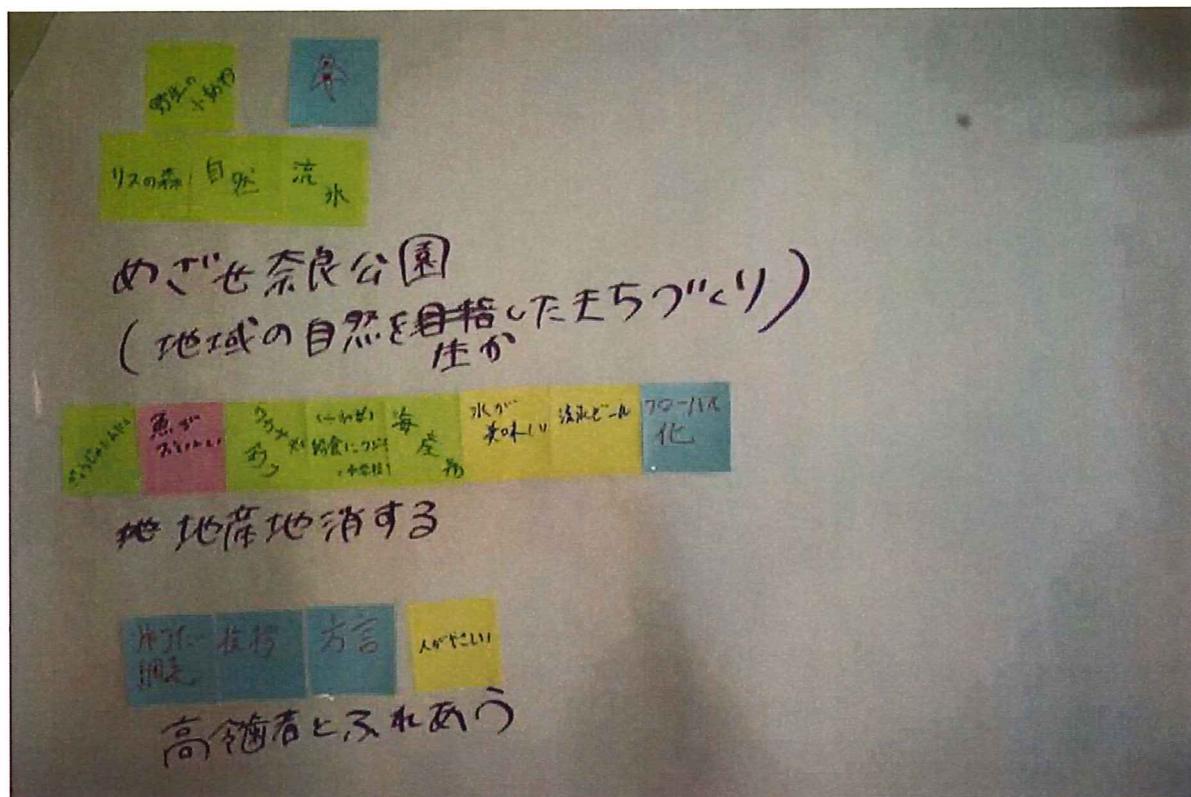
#### 【グループワーク】

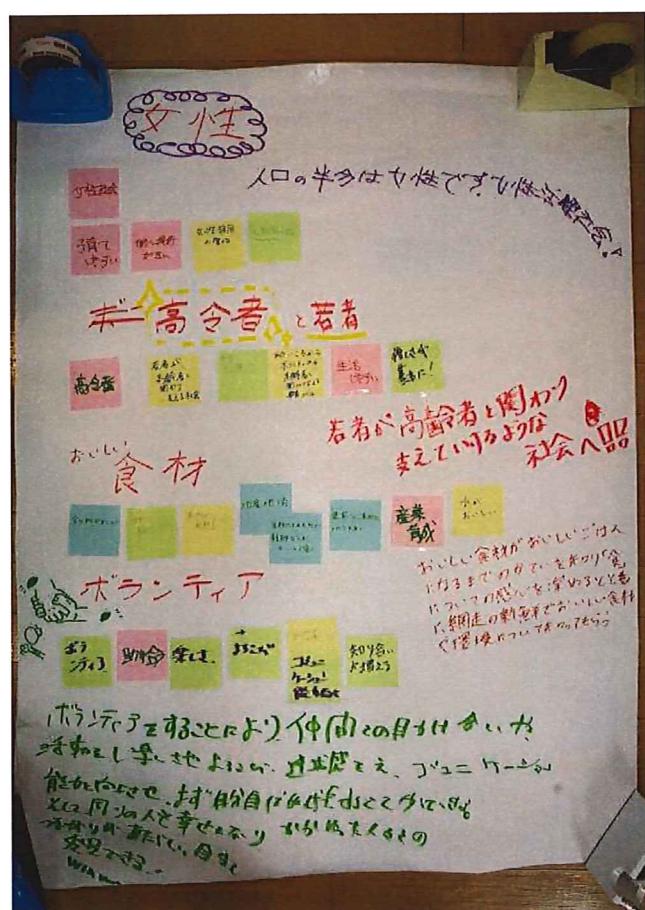
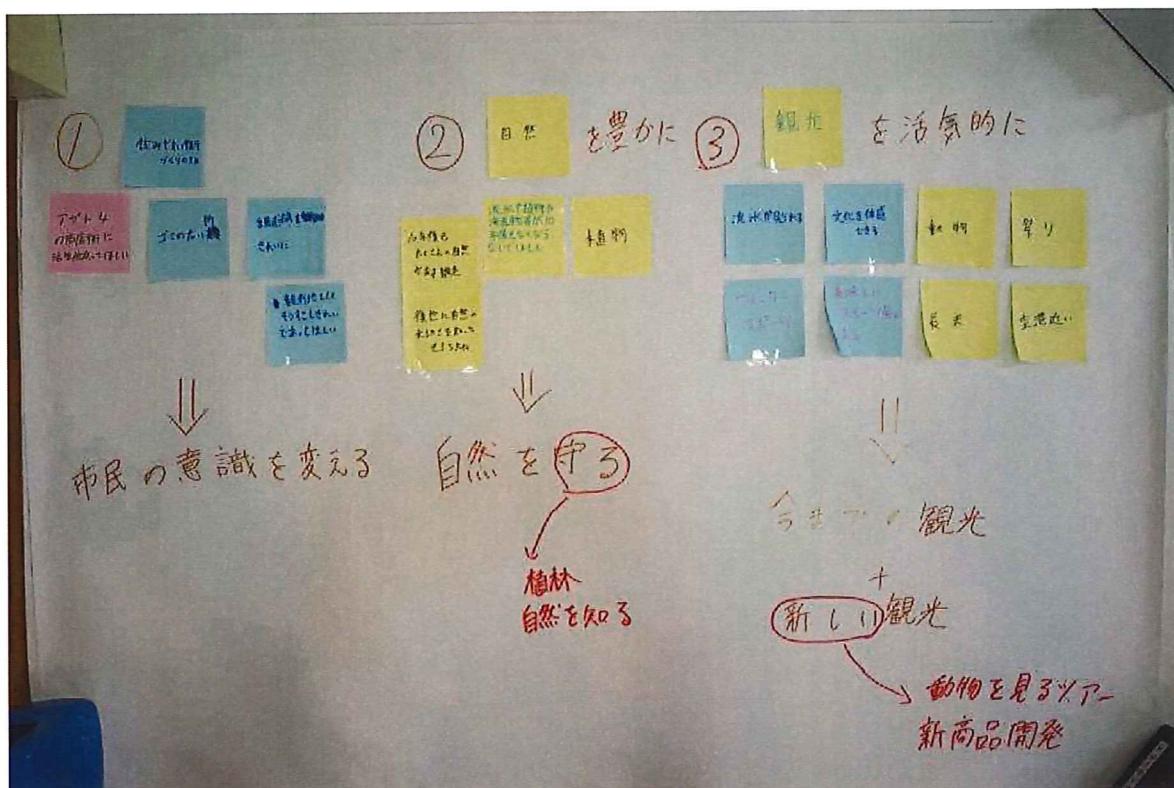
4つのグループに分かれ、下記の項目に沿って意見交換・発表を行いました。

- ① 網走の良いところ、好きなところを考えてみよう
- ② 10 年後の網走の理想のイメージを考えてみよう
- ③ 10 年後のイメージをまとめながら、夢を語ろう
- ④ 10 年後のイメージを実現させるために何をすべきかを考えてみよう

### 3. 協議結果

- ・網走に住みたいと思う人が増えることが大切。
- ・自然の豊かさなど、網走にしかないものを大切にする。
- ・良いところを残す文化を大切に。
- ・まちを愛する気持ちを大切に、1人1人が自覚を持って行動する。
- ・網走の良さを SNS などで発信し、市民も含め広く魅力を知ってもらう。
- ・住みやすいまちのために、清掃活動・ゴミの分別など市民の意識を変える。
- ・ボランティア活動が活発なまちにするために、子どもの頃からボランティア活動や人との関わりを持つことの体験をすることが必要。
- ・若者が高齢者と関わり、支え合える社会に。
- ・子育てしやすい、女性が活躍できるまちを目指す。
- ・地産地消や食材などを通じて地元の食についての理解を深める。





# 高校生ワークショップ

## あばしりの「これから」を 高校生が「考える」



聞かせてください。あなたの意見  
社会教育・生涯学習から網走のまちづくりを考えてみよう

若い、みんなの意見が「社会教育長期計画」に生かされます

参 加  
し て  
み よう

⇒ みんなで将来について、一緒に考え・話す!  
⇒ 地域やまちづくりにかかわる、きっかけになる!  
⇒ 自分の生活の気づき・ヒントの場にしよう!

- 10:00 スタート!  
◆レクチャータイム まずは何のために、何をするのか。社会教育って?考えてみよう  
◆グループワーク1 あばしりの優れた、良い、好きなところを考えてみる。  
◆グループワーク2 10年後のあばしりが、こうだったら良いなどというイメージを考えてみる。  
◆グループワーク3 10年後のイメージをまとめながら、夢を語ろう。  
◆グループワーク4 それを実現するために必要な講座やセミナーを考える。自分がやりたい講座でよい。例えば、《高校生が参加したくなるもの、地域のひとが樂しく豊かに暮らせるもの、地元の素材を生かしたもの》  
13:00 ゴール!



◆講 師・進 行◆ 廣瀬 隆人さん  
一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事

北海道生まれ、北海道教育委員会、宇都宮大学教授、北海道教育大学附属校教授を経て現職。成人教育学を基礎として、網走市の社会教育長期計画や市民学習にも深くかかわっていただいている生粋の網走ファン。



## 【資料】

「あばしり市民の活動・学習に関する調査」  
に関する調査結果（調査概要）

## 調査の概要

### 1 調査の目的

社会教育長期計画は、住民一人ひとりを「学びの主体」としてとらえ、学習・文化・芸術・スポーツ活動に自主的に関わることを基本としています。そのために、その基礎資料となる社会教育調査は、網走市民の暮らしや学習・活動の現状と、今後の学習・活動に関する意向などを把握するために行います。このことにより、今後の網走市民の生涯学習を促進・支援するための諸施策を示す際の根拠とすることを目的として実施しました。

### 2 調査の項目

- ① 回答者の属性 [性別、年代]
- ② 活動・学習の現状と希望  
[活動・学習経験の有無、分野・項目別学習方法と方法、学習理由、不参加理由、分野・項目別学習内容の希望、団体活動経験の有無と分野、所属団体での問題、分野別団体への参加希望、情報源分野・項目別の提供希望講座、市事業への参加経験、市事業への不参加理由、参加に役立った情報、提供を希望する情報]
- ③ 社会教育行政への評価 [市内施設の利用経験と評価]
- ④ 運動・スポーツ活動の現状と希望 [活動の有無、活動理由、しなかった理由、今後の希望]
- ⑤ 網走市への提言 [活動・学習の活性化への提言、社会教育、社会体育への意見]

### 3 調査方法と回収結果

#### ① 調査対象・対象数・抽出方法・調査方法

対象者 : 18歳以上の網走市民  
対象数 : 2,000人  
抽出方法 : 層別無作為抽出法  
調査方法 : 郵送による調査（返信は受取人扱）

② 調査期間 : 2018年3月8日（木）～3月31日（土）

③ 回収結果 : 回答数 716人（男性303人・女性396人・性別無回答17名）  
有効回収率 35.8%

## 調査結果

調査結果は、2007年に実施された「網走市民の活動・学習に関する調査」（網走市教育委員会が実施し、783人の市民からの回答を得たもの。以下「07年調査」という。）との比較や、性別、年齢別クロス集計の主なものを掲載しています。

### 【設問1】 この1年間に行った学習・活動

「何もしていない」が40.7%（△12.1%）と最も多くなりましたが、「07年調査」と比べると大きく減少しています。

次いで「健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション」32.2% (+4.9%)、「町内会や福祉などの地域活動・団体活動等」16.5% (+10.2%) となっています。

この1年間に行った学習、文化的な活動やスポーツ

1年間に行った学習・活動	2018調査		2007調査	
	件数	(%)	件数	(%)
茶道・華道・日舞等の伝統的なお稽古ごと	21	3.0	17	2.3
調理・洋裁等の生活関連技術	47	6.7	24	3.2
疾病予防や介護等の保健・健康関連知識	71	10.2	38	5.1
育児、子どもの教育関係	58	8.3	18	2.4
文字・歴史等の一般教養・知識	49	7.0	24	3.2
外国語の学習	30	4.3	14	1.9
絵画・陶芸等の創作活動	24	3.4	37	4.9
音楽・演劇活動等	42	6.0	19	2.5
パソコン等の実用技術	53	7.6	35	4.7
環境保護・自然活用等の関連知識・技術	29	4.2	17	2.3
大会等に出場するためのスポーツ	52	7.4	27	3.6
健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション	225	32.2	205	27.3
町内会や福祉などの地域活動・団体活動等	115	16.5	47	6.3
その他	45	6.4	23	3.1
何もしていない	284	40.7	397	52.8
有効回答数※	698		752	

※) それぞれの設問で不明のものを除いている(以下の表についても同様)

## 【設問2】 学習・活動の方法

「07年調査」と比べ、主に増えている項目は、「市が実施する事業に参加」28.6% (+19.1%)、「インターネットを利用して」16.3% (+6.8%)、「公共的団体の事業」10.2% (+5.1%)、「個人の教室・レッスンなど」13.8% (+4.9%)、「サークルや団体活動」42.9% (+4.3%) となっています。

学習・活動の方法

学習・活動の方法	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
市が実施する事業に参加	112	28.6	30	9.5
道や他の市町村の事業に参加	28	7.1	15	4.7
公共的団体（商工会議所・社会福祉協議会等）の事業に参加	40	10.2	16	5.1
個人の教室・レッスンなどで	54	13.8	28	8.9
勤務先の会社などを行う研修等	59	15.1	43	13.6
サークルや団体活動で	168	42.9	122	38.6
通信教育	11	2.8	14	4.4
新聞・雑誌・図書を読んで	126	32.1	105	33.2
インターネットを利用して	64	16.3	30	9.5
テレビ・ラジオ・DVD・ブルーレイディスクの講座等で	49	12.5	28	8.9
その他	30	7.7	17	5.4
有効回答数	392		316	

## 【設問3】 学習・活動する理由

「健康・体力づくり・気分転換・楽しみのため」が62.6% (△3.5%)、「余暇を楽しく過ごすため」45.5% (+18.6%) が上位2つを占めており、「07年調査」と変わりません。そのほか「07年調査」と比べ増加している主な項目は、「以前からやっている」25.9% (+18.3%)、「人間関係を広げる」27.1% (+14.4%)、「家庭生活に役立たせる」22.7% (+11.5%)、「ボランティア・地域貢献のため」20.8% (+6%) となっています。

#### 学習・活動する主な理由

学習・活動する理由	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
家庭生活に役立たせるため	93	22.7	37	11.2
仕事に役立たせるため	94	23.0	73	22.1
余暇を楽しく過ごすため	186	45.5	89	26.9
人間関係を広げる（友人を増やす）ため	111	27.1	42	12.7
技術・技量の向上、資格取得のため	58	14.2	66	20
ボランティア・地域貢献のため	85	20.8	49	14.8
大会・競技会に出場するため	31	7.6	13	3.9
健康・体力づくり・気分転換・楽しみのため	256	62.6	219	66.1
友人・知人に誘われたので	40	9.8	22	6.6
以前からやっている	106	25.9	25	7.6
その他	15	3.7	9	2.7
有効回答数	409		331	

#### 【設問4】 学習・活動をしない理由

「時間の余裕がない」が48.3%と最も多く、次いで「経済的余裕がない」26.5%(+15%)、「健康がすぐれない」20.7% (+14.2%) となっています。

#### 学習・活動を何もしていない理由

何もしていない理由	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
何もする気がないので	56	19.0	62	15.5
何かしたいがどうすればいいのか分からないので	53	18.0	22	5.5
時間の余裕がないので	142	48.3	193	48.3
経済的な余裕がないので	78	26.5	46	11.5
一緒に参加する人がいないので	45	15.3	10	2.5
健康がすぐれないでの	61	20.7	26	6.5
その他	26	8.8	41	10.3
有効回答数	294		400	

## 【設問5】 今後始めたい(続けたい)学習・活動

「健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション」が 54.1% ( $\Delta 2.7\%$ ) と最も多くなっています。

「07年調査」と比べ、主に増えている項目は、「町内会や福祉などの地域活動・団体活動等」16.3% (+8.1%)、「調理・洋裁等の生活関連技術」16% (+6.1%)、「疾病予防や介護等の保健・健康関連知識」17.3% (+5.5%)、「外国語の学習」12.5% (+5.4%) となっています。

「07年調査」と比べて、減少しているのは「絵画・陶芸等の創作活動」9.4% ( $\Delta 2.5\%$ )、「パソコン等の実用技術」16.8% ( $\Delta 1.4\%$ ) となっています。

今後始めたい（続けたい）学習・文化的活動・スポーツ

始めたい(続けたい)学習・活動	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
茶道・華道・日舞等の伝統的なおけいこごと	39	5.7	43	5.9
調理・洋裁等の生活関連技術	110	16.0	72	9.9
疾病予防や介護等の保健・健康関連知識	119	17.3	86	11.8
育児・子どもの教育関連	65	9.4	40	5.5
文字・歴史等の一般教養	72	10.4	51	7.0
外国語の学習	86	12.5	52	7.1
絵画・陶芸等の創作活動	65	9.4	87	11.9
音楽・演劇活動等	56	8.1	40	5.5
パソコン等の実用技術	116	16.8	133	18.2
環境保護・自然活用等の関連知識・技術	52	7.5	43	5.9
大会等に出場するためのスポーツ	48	7.0	23	3.2
健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション	373	54.1	414	56.8
町内会や福祉などの地域活動・団体活動等	112	16.3	60	8.2
その他	21	3.0	15	2.1
特になし	143	20.8	132	18.1
有効回答数	689		729	

## 【設問6】 活動団体・サークルについて

「何もしていない」が49.2%（△13.9%）と最も多くなっているものの、「07年調査」と比べ大きく減少しています。それ以外の項目については、ポイント数を下げているものはありません。

現在活動している（過去に活動していた）団体・サークル等

活動団体・サークル	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
趣味の団体・サークル	128	18.9	71	10.0
学習・研修の団体・サークル	40	5.9	23	3.2
自治会・町内会等の地域活動団体	102	15.0	62	8.8
ボランティア団体	55	8.1	36	5.1
子育ての団体・サークル	18	2.7	10	1.4
健康づくりの団体・サークル	78	11.5	34	4.8
スポーツの団体・サークル	119	17.5	58	8.2
環境・自然保護関係の団体	14	2.1	10	1.4
その他	21	3.1	14	2.0
何もしていない	334	49.2	447	63.1
有効回答数	679		708	

## 【設問7】 団体・サークルの抱える問題点

「問題はない」が42.2%（+3.8%）と最も多くなっています。

1番多い問題としては、「会員の減少」が40%（+9%）、次いで「会員の高齢化」が38.8%（+13.5%）となっています。

団体・サークルの抱える問題点

団体・サークルの抱える問題点	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
問題はない	137	42.2	94	38.4
会員の減少	130	40.0	76	31.0
会員の固定化	48	14.8	31	12.7
会員の高齢化	126	38.8	62	25.3
利用できる場・施設が少ない	32	9.8	16	6.5
成果を発表する機会が少ない	7	2.2	4	1.6
適切なリーダーがいない	20	6.2	18	7.3
活動資金が集まらない	19	5.8	8	3.3
その他	7	2.2	4	1.6
有効回答数	325		245	

## 【設問8】 今後活動したい（続けたい）団体・サークル

「趣味の団体・サークル」が33% (+7.6%)と「07年調査」よりも増加し、最も多くなっています。次いで、「何もしたくない」30.2% (△3.4%)となっています。

「07年調査」と比べ、主に大きく増えている項目は、「スポーツの団体・サークル」21.6% (+10.1%)、「健康づくりのサークル・団体」28.1% (+8.6%)となっています。

### 今後活動したい（続けたい）団体・サークル等

活動したい団体・サークル	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
趣味の団体・サークル	214	33.0	178	25.4
学習・研修の団体・サークル	59	9.1	53	7.5
自治会・町内会等の地域活動団体	69	10.6	58	8.3
ボランティア団体	78	12.0	91	13.0
子育ての団体・サークル	32	4.9	25	3.6
健康づくりの団体・サークル	182	28.1	137	19.5
スポーツの団体・サークル	140	21.6	81	11.5
環境・自然保護関係の団体	40	6.2	39	5.6
その他	23	3.5	18	2.6
何もしたくない	196	30.2	236	33.6
有効回答数	648		702	

## 【設問9・10】 市の事業への参加経験、不参加の理由

「一度も参加したことがない」が54.5% (△7.4%)を占めてはいるものの、「07年調査」よりも大きく減少しています。「この1年間に事業に参加した・参加している」についても、19.9% (+4%)と増加しています。

事業に参加できなかった理由は、「時間の都合が合わない」が40.0% (+5.9%)、「時間に余裕がない」が38.5% (△1.9%)となっています。

「健康がすぐれない」が17% (+8.6%)と大きく増加しています。

### 網走市が実施する事業への参加経験

市の事業への参加経験	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
この1年間に事業に参加した・している	133	19.9	116	15.9
かつて参加したことがあるが、この1年間は参加していない	172	25.7	162	22.2
一度も参加したことがない	365	54.5	452	61.9
有効回答数	670		730	

市の事業に参加しなかった主な理由

参加しなかった理由	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
どんな事業にも参加したくないから	30	5.9	32	6.0
事業があることを知らなかったから	85	16.6	80	14.9
関心の持てる事業がないから	93	18.2	67	12.5
時間の都合が合わないから	205	40.0	183	34.1
一緒に参加する人・仲間がいないから	73	14.3	50	9.3
健康がすぐれないから	87	17.0	45	8.4
時間に余裕がないから	197	38.5	217	40.4
経済的な余裕がないから	80	15.6	49	9.1
その他	19	3.7	20	3.7
有効回答数	512		537	

【設問11】 事業に参加する際に役立った情報

「市の広報『あばしり』」が53.2% (△3.5%)と最も多くなっています。

「ポスター・チラシ・パンフレット」は35.5% (+18.6%)と「07年調査」と比較して大きく増加しています。

事業に参加する際に役立った情報

役立った情報	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
市の広報「あばしり」	159	53.2	208	56.7
ポスター・チラシ・パンフレット	106	35.5	62	16.9
新聞のお知らせ・広告、「かわら版」	75	25.1	97	26.4
テレビ・ラジオのお知らせ	10	3.3	13	3.5
インターネット（ホームページ、SNS等）	18	6.0	23	6.3
家族・友人・知人から	147	49.2	182	49.6
その他	17	5.7	11	3.0
有効回答数	299		367	

【設問12】 提供して欲しい情報

「事業についての詳細な情報」が66.0% (+18.2%)と最も多く、次いで「サークル・団体について」43.4% (+20.3%)、「施設について」32.4 (+5.2%)となっています。

提供して欲しい情報

提供して欲しい情報	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
どのような事業があるか詳細な情報	401	66.0	319	47.8
施設についての情報	197	32.4	182	27.2
サークル・団体についての情報	264	43.4	154	23.1
講師・指導者等に関する情報	146	24.0	120	18.0
個人で学習するための資料や学習方法についての情報	166	27.3	203	30.4
その他	24	3.9	23	3.4
有効回答数	608		668	

【設問13】 市に開設して欲しい教室・講座

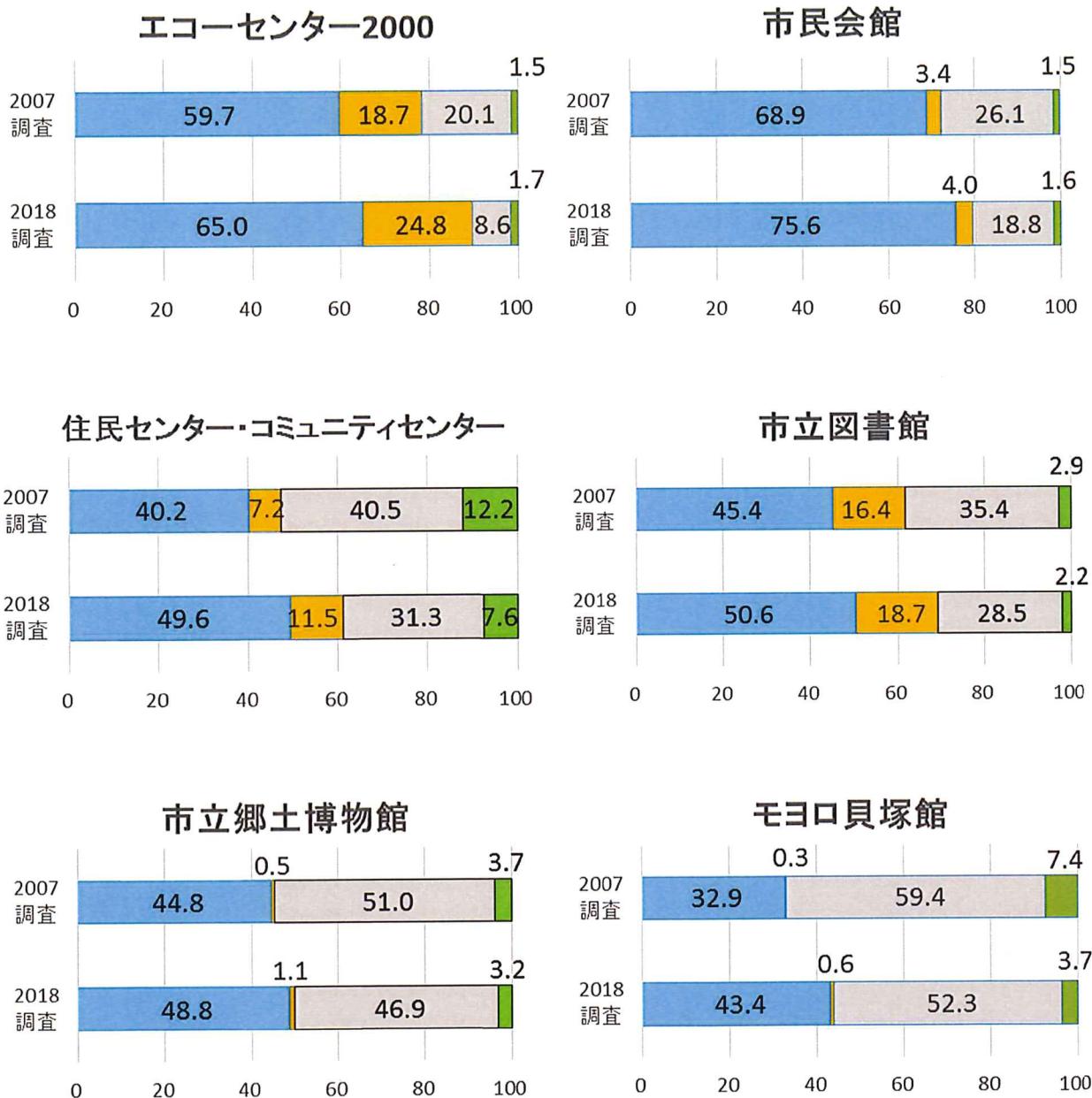
「健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション」48.0% (△14.2%) が最も多く、次いで「疾病予防や介護等の保健・健康関連知識」22.6% (+9.8%)、「パソコン等の実用技術」18.2% (+5.3%)、「調理・洋裁等の生活関連技術」18.1% (+8.9%)、「外国語の学習」14.3% (+9.2%) となっています。

市に開設して欲しい教室・講座

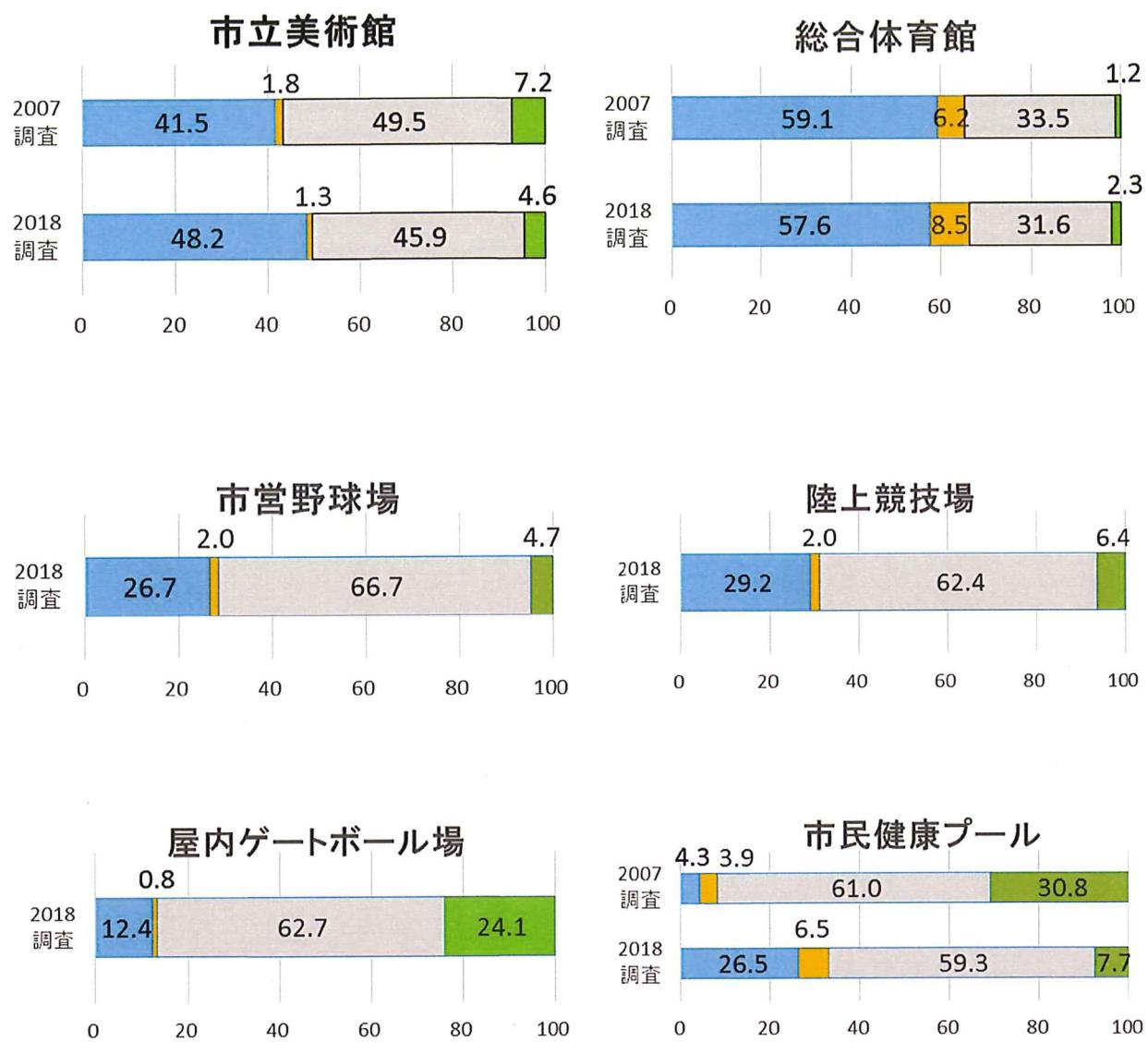
開設して欲しい教室・講座	2018 調査		2007 調査	
	件数	(%)	件数	(%)
茶道・華道・日舞等の伝統的なおけいこごと	39	5.9	28	3.9
調理・洋裁等の生活関連技術	120	18.1	66	9.2
疾病予防や介護等の保健・健康関連知識	150	22.6	92	12.8
育児・子どもの教育関連	63	9.5	50	6.9
文字・歴史等の一般教養	68	10.2	42	5.8
外国語の学習	95	14.3	37	5.1
絵画・陶芸等の創作活動	67	10.1	61	8.5
音楽・演劇活動等	62	9.3	37	5.1
パソコン等の実用技術	121	18.2	93	12.9
環境保護・自然活用等の関連知識・技術	71	10.7	55	7.6
大会等に出場するためのスポーツ	34	5.1	17	2.4
健康・体力づくり・気分転換・楽しむためのスポーツ・レクリエーション	319	48.0	448	62.2
町内会や福祉などの地域活動・団体活動等、リーダー養成に関して	48	7.2	44	6.1
その他	28	4.2	12	1.7
特ない	148	22.3	157	21.8
有効回答数	664		720	

## 【設問14】 施設の利用と認知の状況

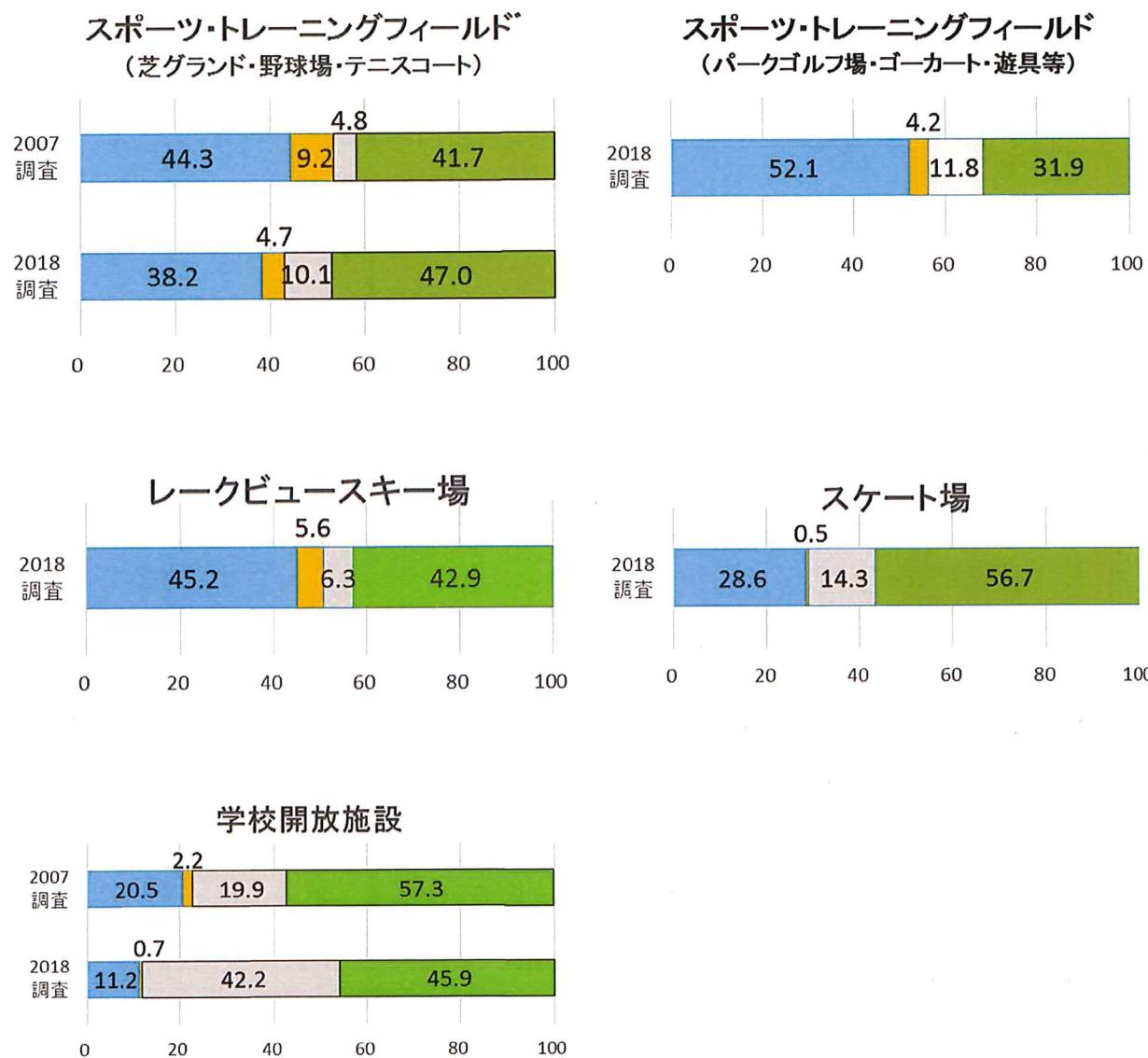
■数回は利用した  
 ■定期的に利用している  
 ■知っているが利用せず  
 ■施設があることを知らない  
 (単位 %)



■数回は利用した      ■定期的に利用している  
■知っているが利用せず    ■施設があることを知らない  
 (単位 %)

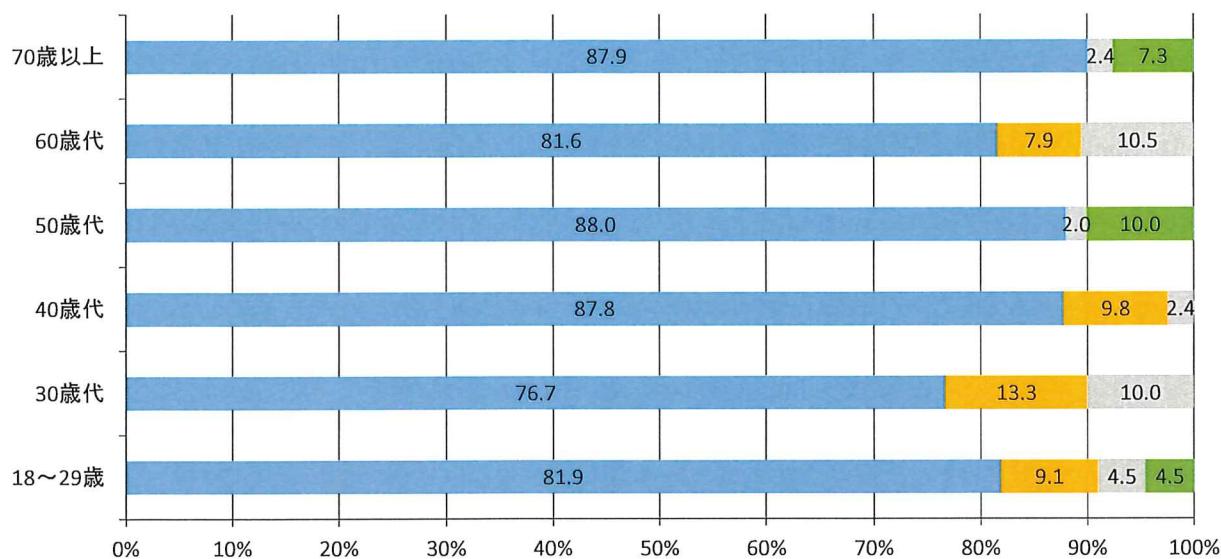


■数回は利用した  
 ■定期的に利用している  
 ■知っているが利用せず  
 ■施設があることを知らない  
 (単位 %)

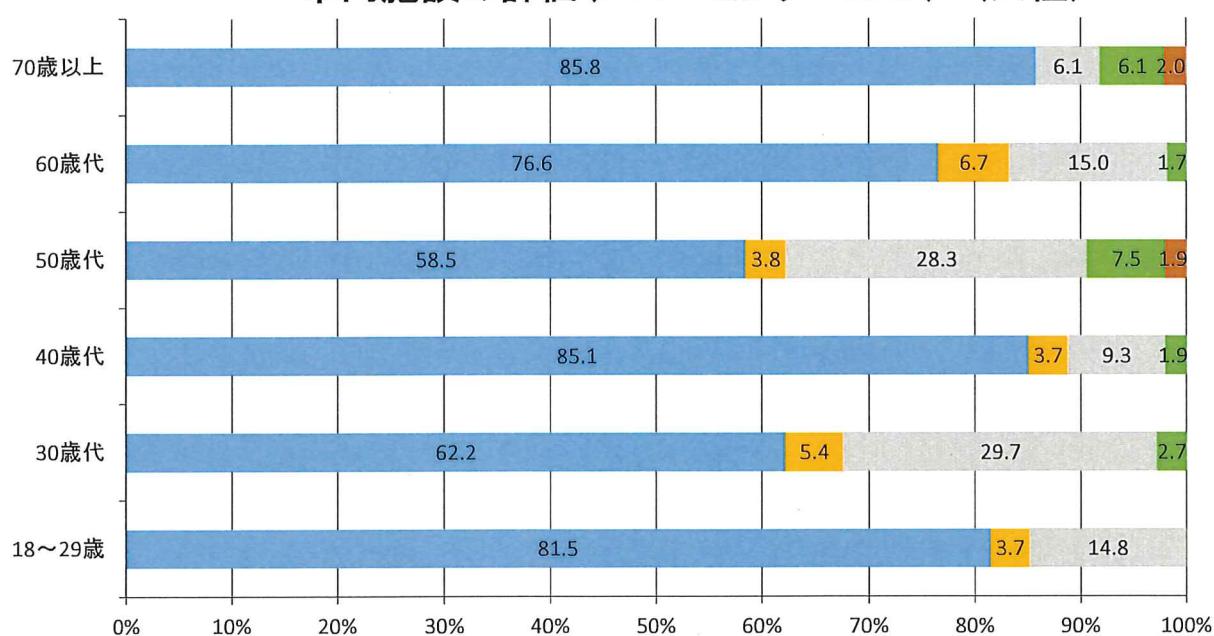


## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(エコーセンター2000) (男性)



市内施設の評価(エコーセンター2000) (女性)



■ 利用して満足している

■ 休館日・閉館時間が使いづらい

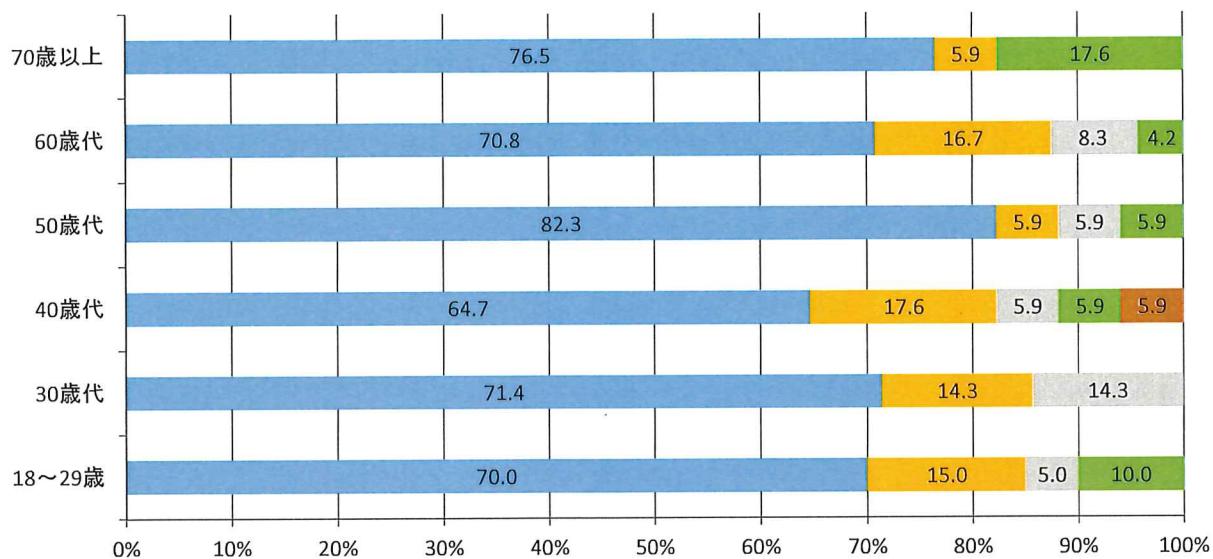
■ 教室・講座等を増やしてほしい

■ 相談、指導等を充実してほしい

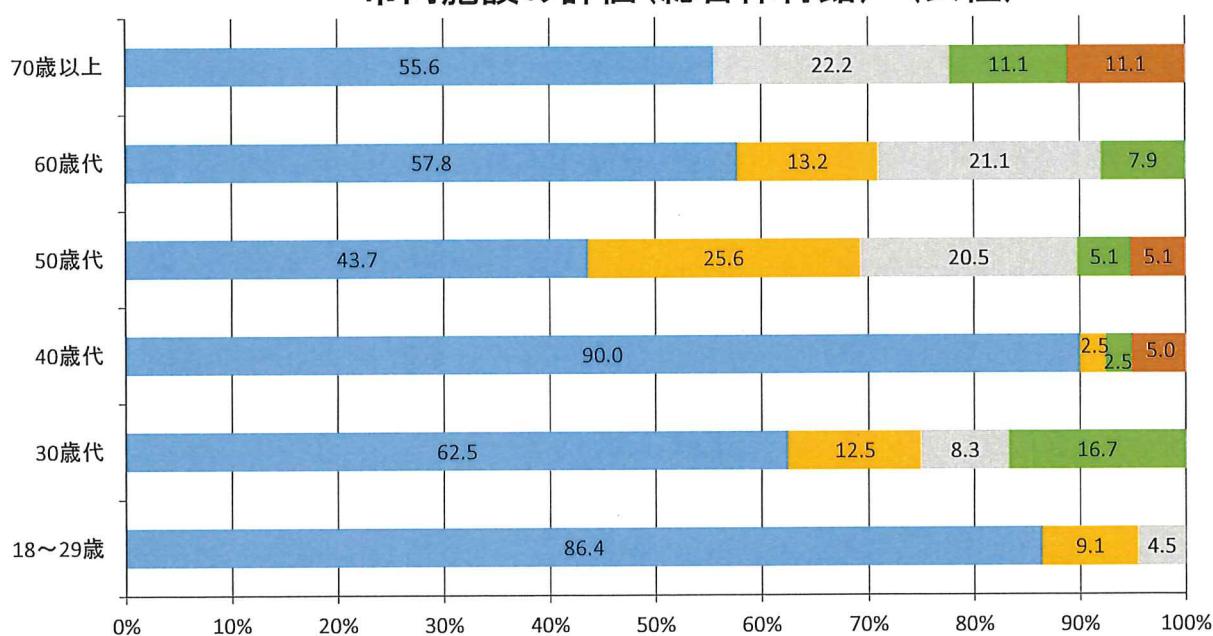
■ その他

## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(総合体育館) (男性)

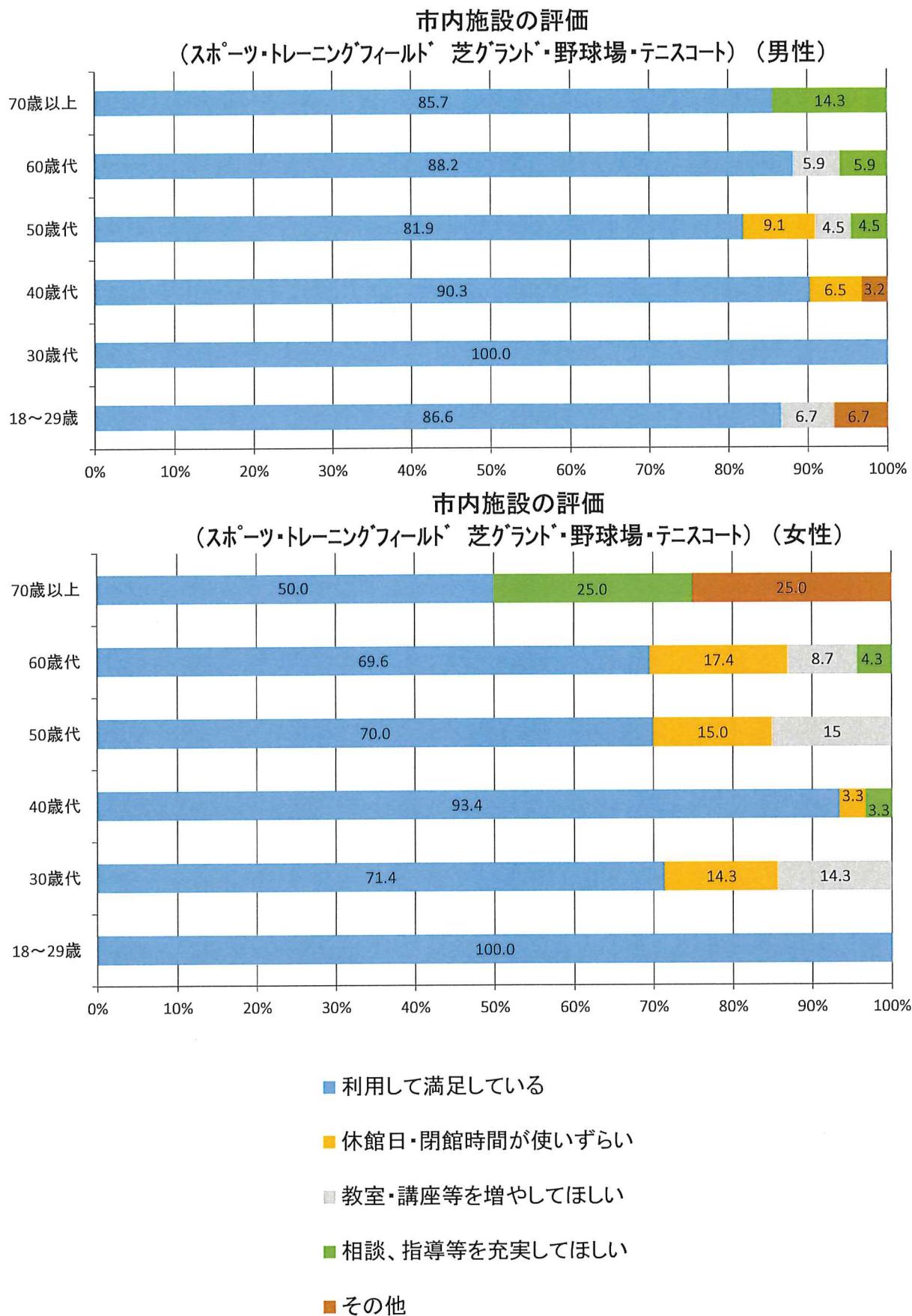


市内施設の評価(総合体育館) (女性)

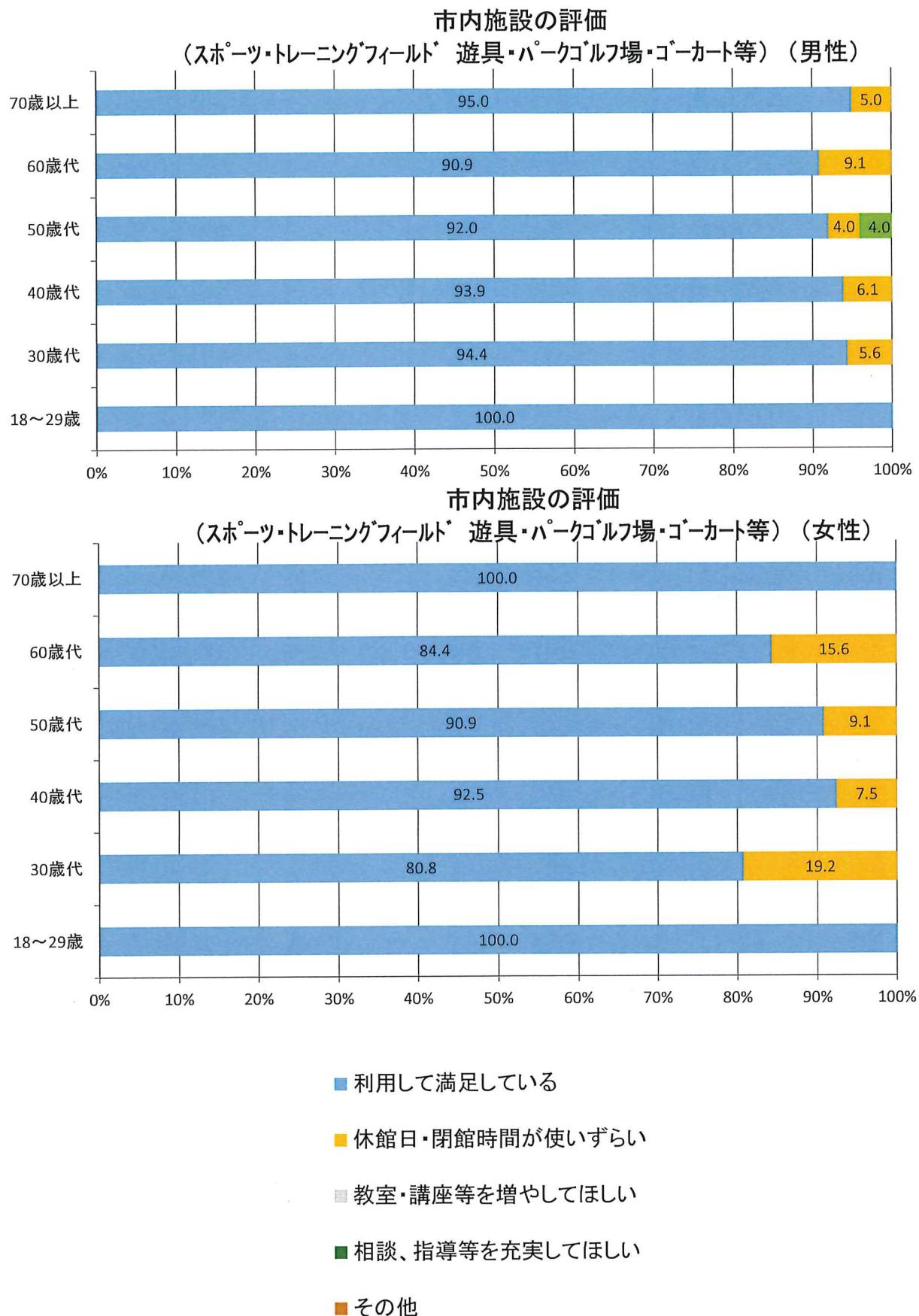


- 利用して満足している
- 休館日・閉館時間が使いづらい
- 教室・講座等を増やしてほしい
- 相談、指導等を充実してほしい
- その他

## 【設問15】利用者からの評価

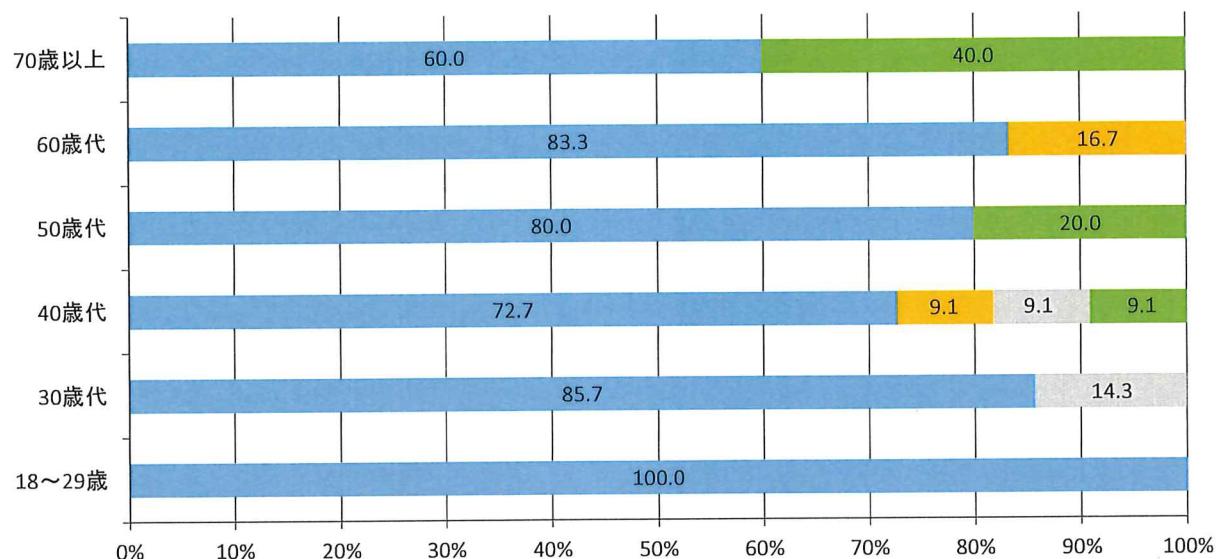


## 【設問15】利用者からの評価

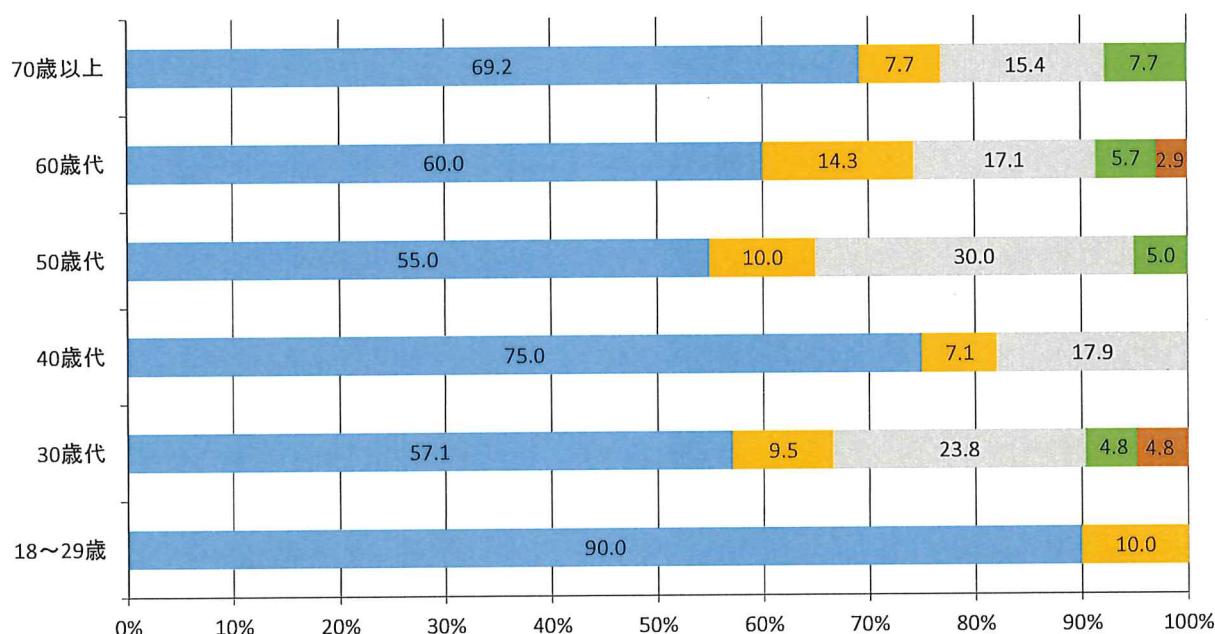


## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(市民健康プール) (男性)



市内施設の評価(市民健康プール) (女性)



■ 利用して満足している

■ 休館日・閉館時間が使いづらい

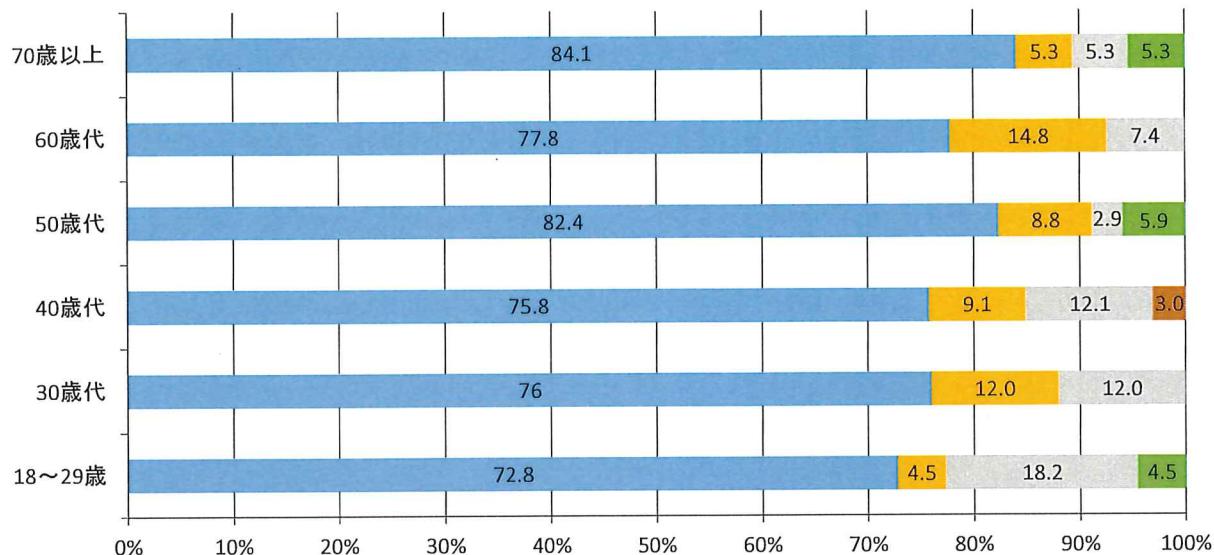
■ 教室・講座等を増やしてほしい

■ 相談、指導等を充実してほしい

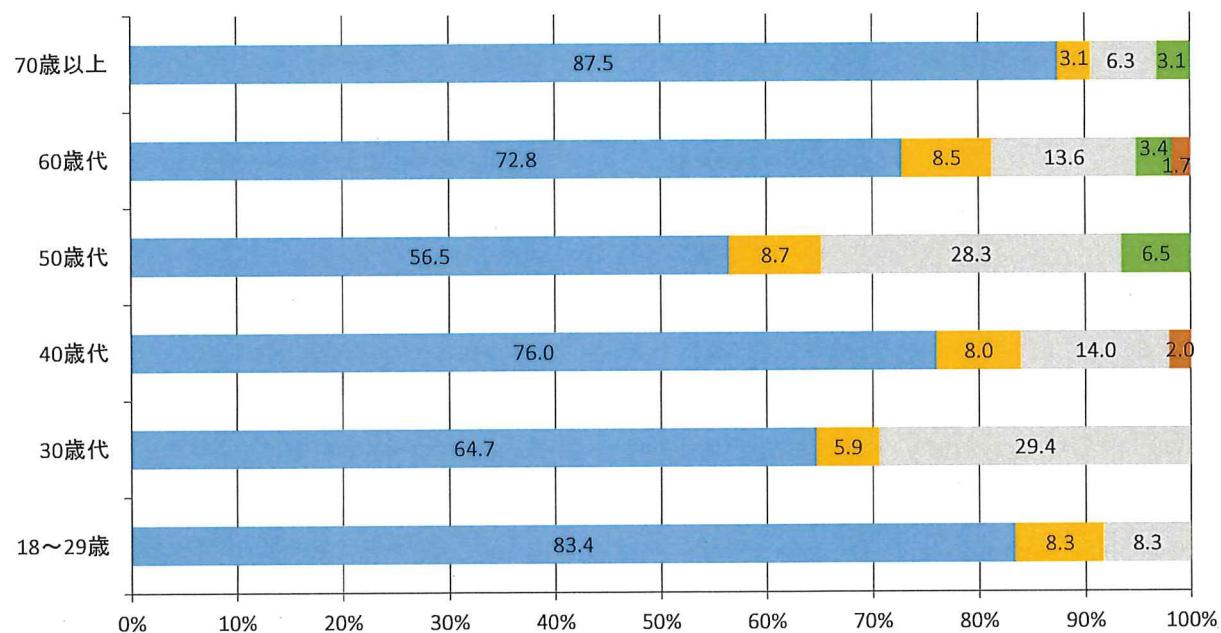
■ その他

## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(図書館) (男性)



市内施設の評価(図書館) (女性)



■ 利用して満足している

■ 休館日・閉館時間が使いづらい

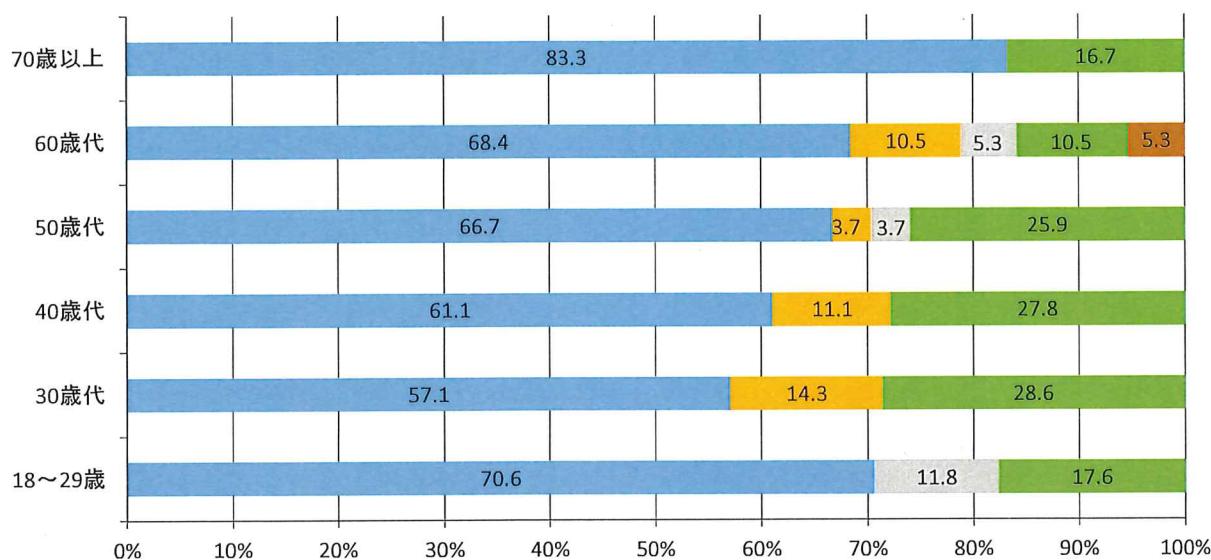
■ 本の数・ジャンルを増やしてほしい

■ 活動・学習相談を充実してほしい

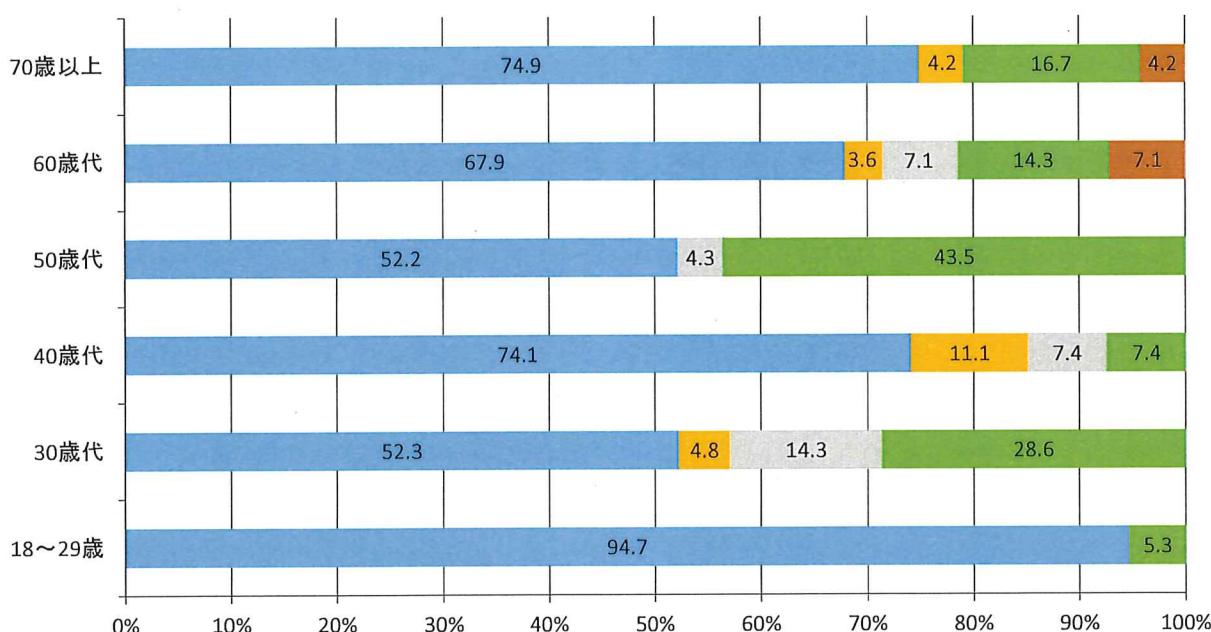
■ その他

## 【設問15】利用者からの評価

### 市内施設の評価(郷土博物館) (男性)



### 市内施設の評価(郷土博物館) (女性)



■ 利用して満足している

■ 休館日・閉館時間が使いづらい

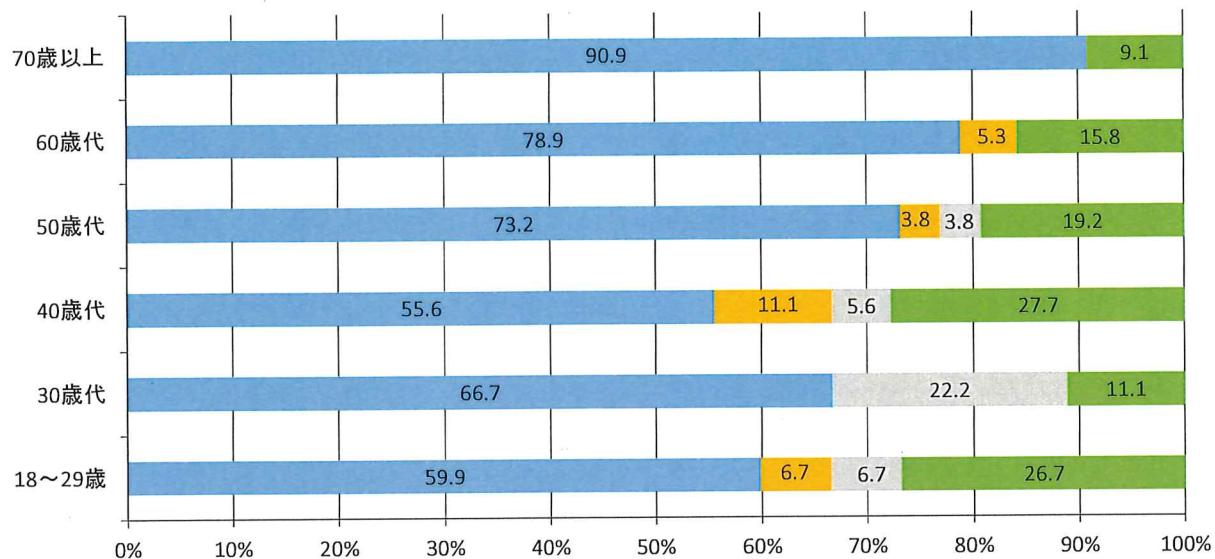
■ 教室・講座等を増やしてほしい

■ 企画展・特別展を増やしてほしい

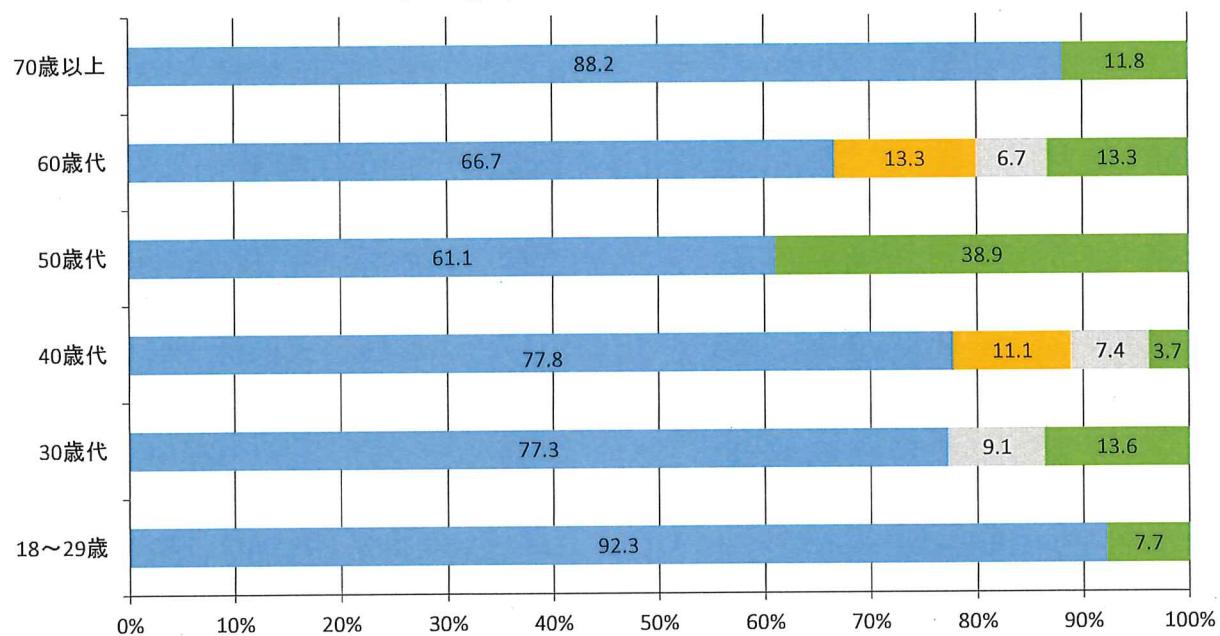
■ その他

## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(モヨロ貝塚館) (男性)



市内施設の評価(モヨロ貝塚館) (女性)



■ 利用して満足している

■ 休館日・閉館時間が使いづらい

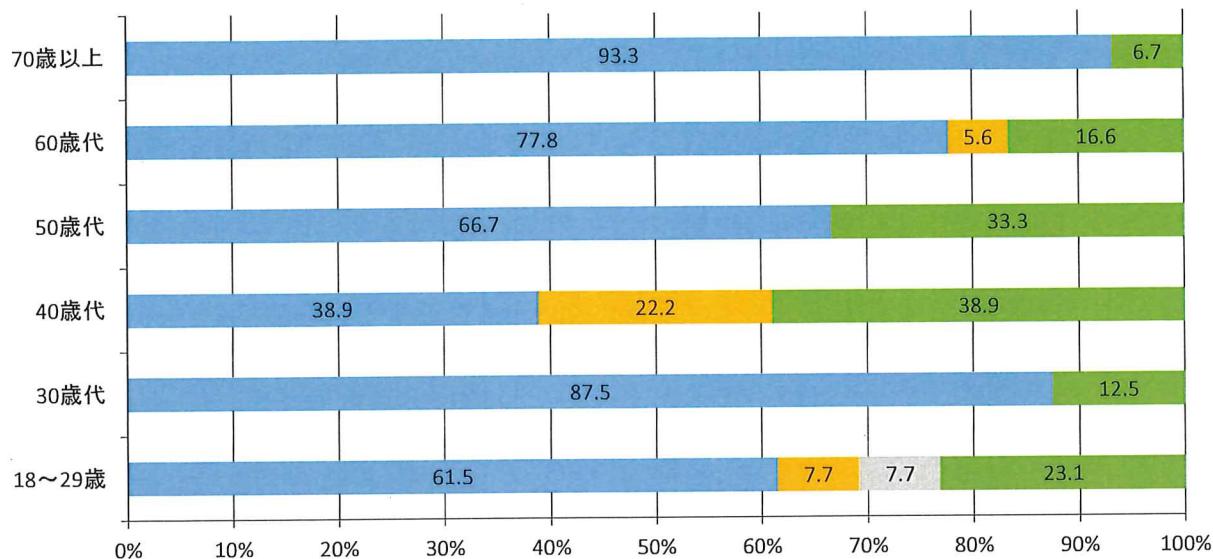
■ 教室・講座等を増やしてほしい

■ 企画展・特別展を増やしてほしい

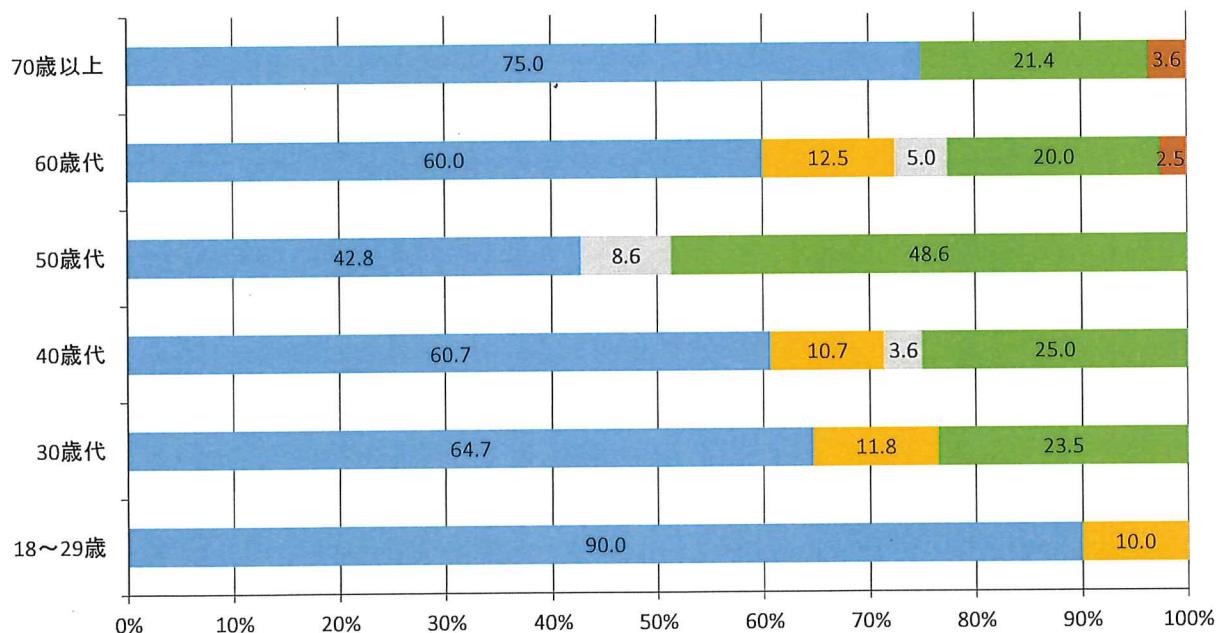
■ その他

## 【設問15】利用者からの評価

市内施設の評価(美術館) (男性)



市内施設の評価(美術館) (女性)



■ 利用して満足している

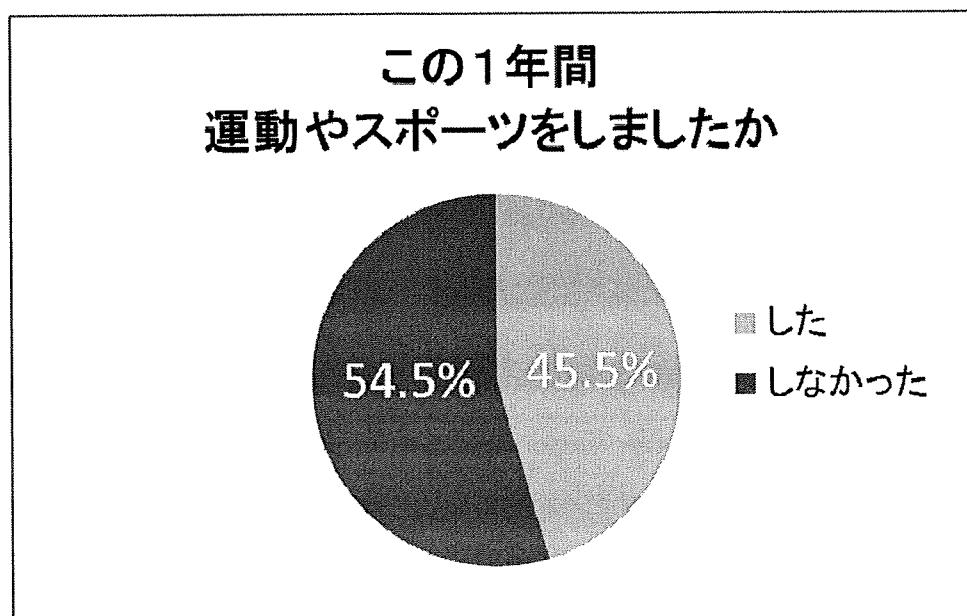
■ 休館日・閉館時間が使いづらい

■ 教室・講座等を増やしてほしい

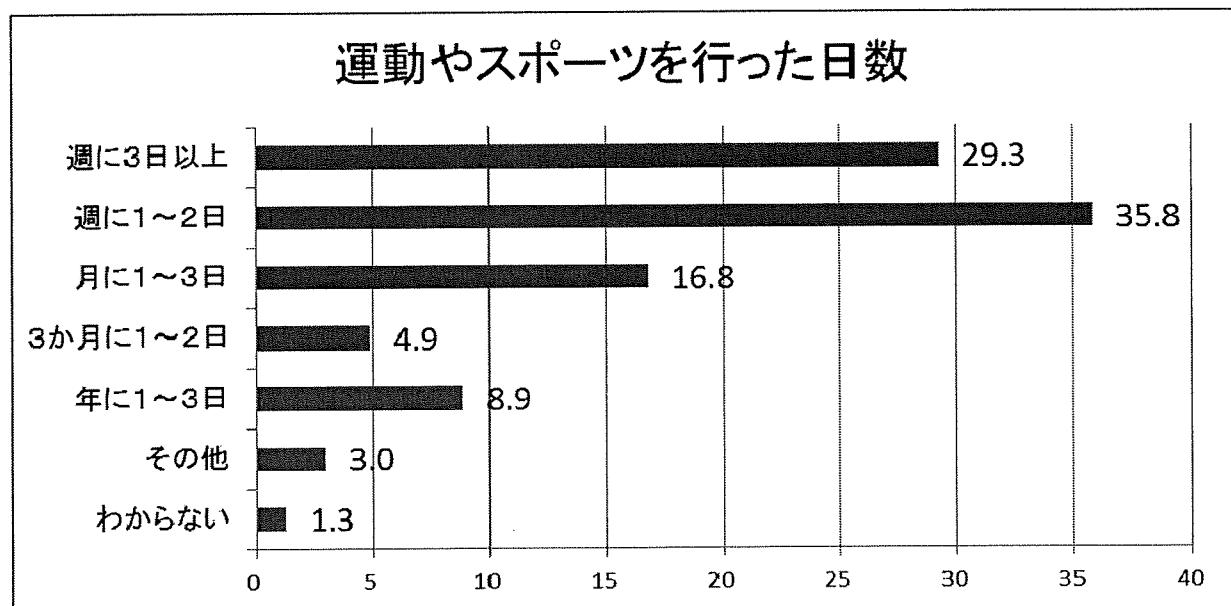
■ 企画展・特別展を増やしてほしい

■ その他

【設問16・17】 この1年間に行った運動・スポーツ活動頻度

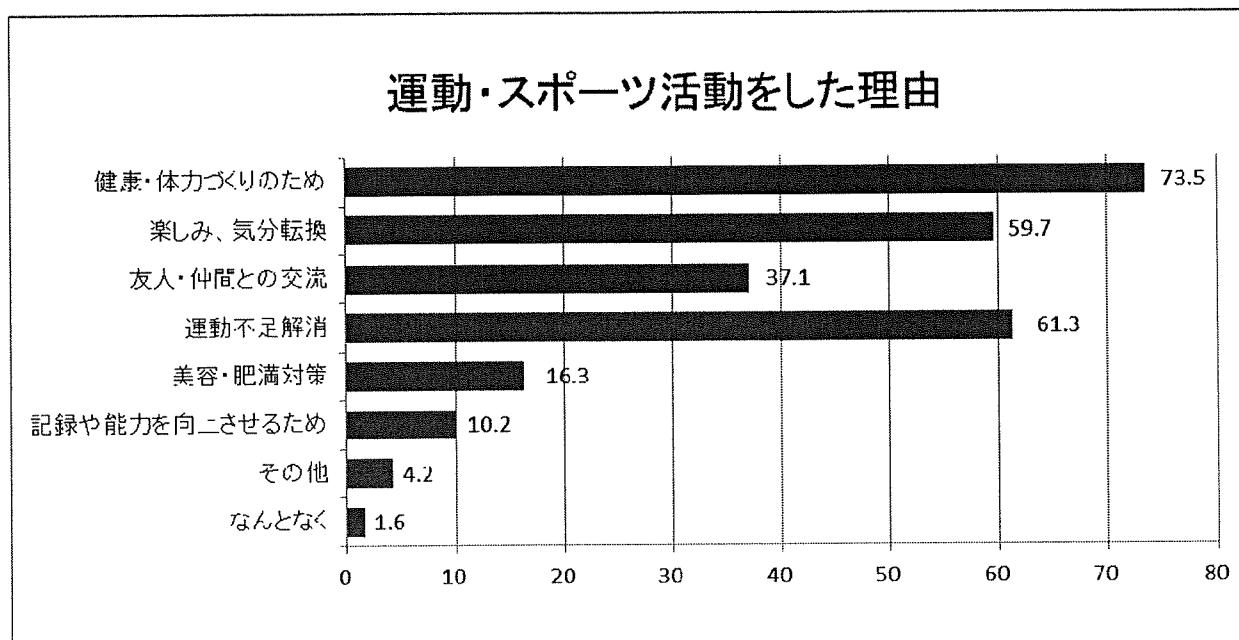


(単位 %)

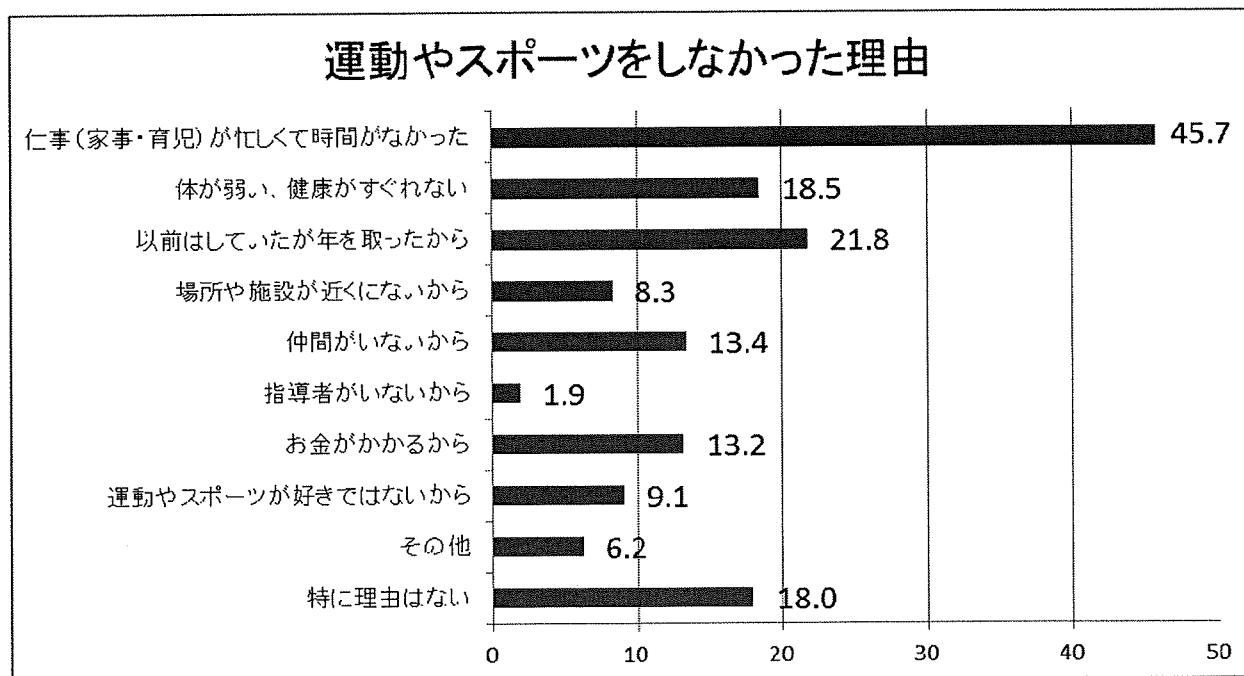


【設問18・19】 運動・スポーツ活動する理由・しない理由

(単位 %)

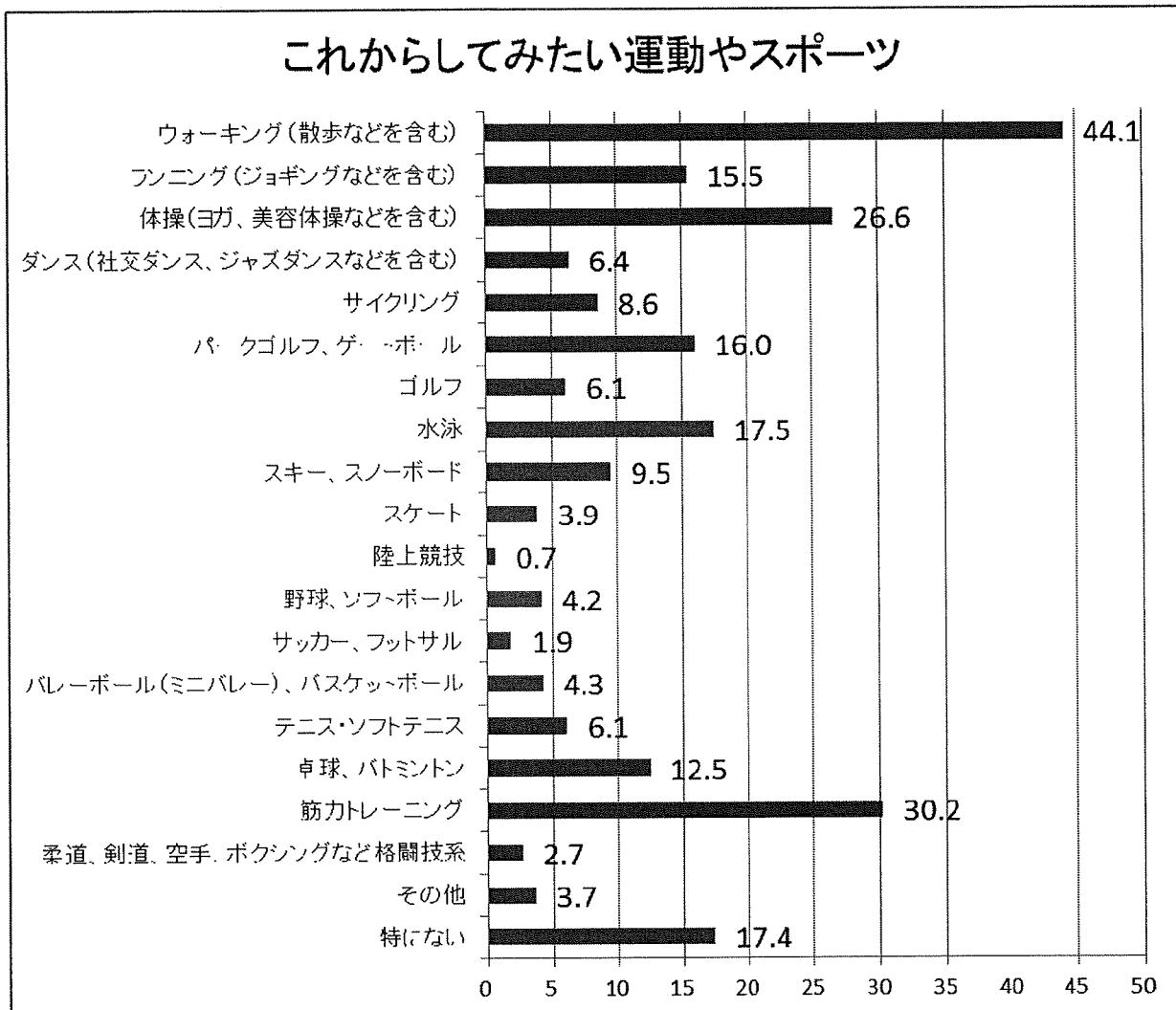


(単位 %)



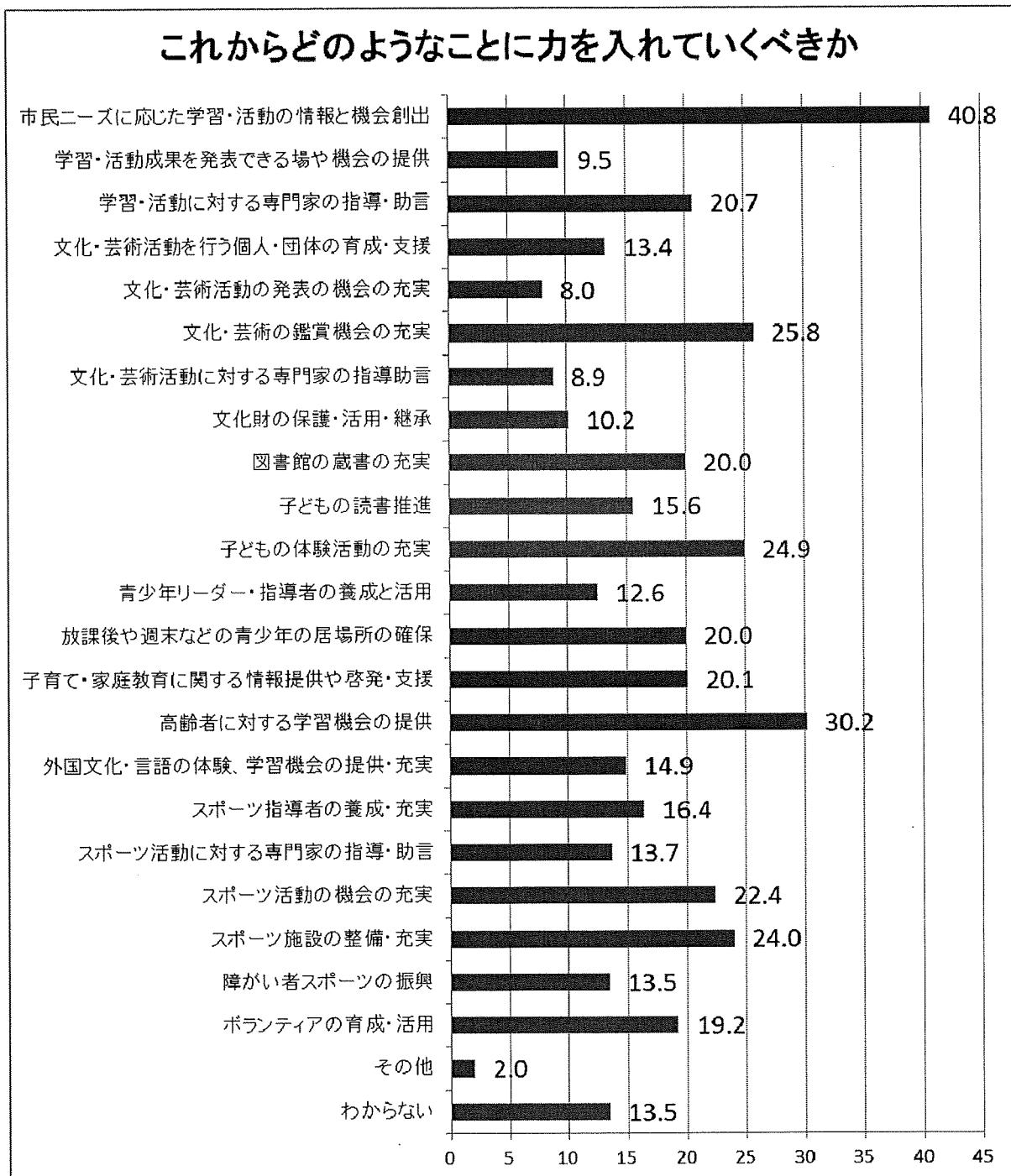
【設問20】 今後してみたい運動・スポーツ活動

(単位 %)



【設問21】 学習・文化・スポーツ活動等の活性化のために  
市に期待すること

(単位 %)



## 網走市社会教育長期計画

平成31年3月発行

発 行： 網走市教育委員会 社会教育部 社会教育課

〒093-0072 網走市北2条西3丁目3番地

オホーツク・文化交流センター

TEL : 0152-43-3705 FAX : 0152-45-0733

URL : <http://www.city.abashiri.hokkaido.jp>

網走市社会教育長期計画  
2019 - 2028  
網走市教育委員会